会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで!

■撮りかたのコツや新製品情報	http://panasonic.jp/
■サポート情報	http://panasonic.jp/support/
■便利なLUMIX修理サービス	http://lumix.jp/repair/

QuickTime

QuickTimeおよびQuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。

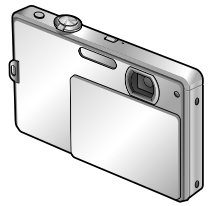
愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を!

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が乱れたり出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体やチャージャーが破損した • その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15 号

M1209KZ1030

Panasonic®



取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-FP1

本書では、本機の操作方法を説明しています。別冊の「パソコン接続編 取扱説明書」、「付属ソフトについてのお知らせ」もあわせてお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

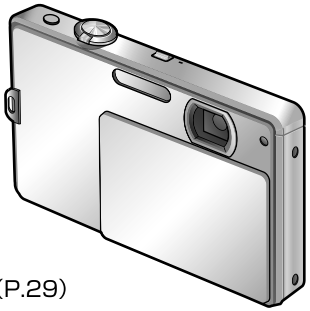
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6 ～ 9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

VQT2K14-1

安全上のご注意
はじめに
準備
基本
応用・撮影
応用・再生
他の機器との接続
その他 Q&A

大切な瞬間を楽しくカンタンに撮る・見る・残す LUMIX（ルミックス）



撮る P.27

おまかせで撮る

- カメラがシーンを自動で判別
  「インテリジェントオートモード」（P.29）
- 顔を見分けてキチンとフォーカス
  「顔認識」（P.29、60）

お洒落でスリム

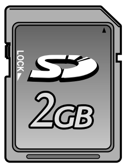
- いつでも持ち出せるスタイリッシュボディ
  「屈曲式レンズ」

ズームで撮る（P.33）

- 遠くの人も大きく「光学4 倍ズーム」
  （EX光学ズームを使って、さらにズームイン）

動画を撮る（P.53）

- ハイビジョン動画対応
  1280×720画素　30fps(Motion JPEG)



各機器にSD メモリーカードスロットがある場合は直接スロットへ！

- SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードは対応機器でのみお使いになれます。

見る P.83

- テレビの大画面で再生
  （AVケーブル）
  （SDカード）

残す P.80

- ご家庭のプリンター※2で手軽にプリント
  （USB接続ケーブル）
- カード※1をお店に渡してプリント
  （SDカード）

パソコン※2で 活かす、残す P.78

付属のソフトウェア
「PHOTOfunSTUDIO※3」を使って…

- 画像を保存、加工、管理
  （SDカード）
  （USB接続ケーブル）

さらに…

ハードディスク・DVDレコーダー※2で保存

（SDカード）
（AVケーブル）

※1 本書ではSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「カード」と記載しています。
※2 詳しくは、それぞれの機器の説明書をご覧ください。
※3 付属CD-ROMに収録されている「PHOTOfunSTUDIO 5.0」をお使いください。

もくじ

必ずお読みください

はじめに

準備

基本

応用・撮影

応用・再生

他の機器との接続

その他Q&A

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⃠ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- ●煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ●映像や音声が出ないことがある
- ●内部に水や異物が入った
- ●電源プラグが異常に熱い
- ●本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V ～ 240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

⚠ 注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。
- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。
- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

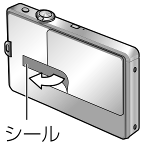
次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

ご使用の前に

まず、お読みください

■レンズカバーのシールを完全にはがしてからお使いください



シール

■必ずためし撮りを！

事前に撮影や録音ができるか、確認してください。

■撮影や録音の失敗や損失、直接的・間接的な損害は補償できません

本機やカードの不具合による場合でも、補償はご容赦ください。

■著作権に気をつけてください

- 撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。
- 個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。

■再生できない場合があります

- パソコンで編集をした画像。
- 他機で撮影や編集をした画像。
  (本機で撮影や編集をした画像も、他機では再生できないことがあります)

■付属のCD-ROMのすべてのソフトウェアについて

次の行為は禁止されています。

- 営業目的の複製(コピー)
- ネットワークへの転載

故障や破損、誤動作や不具合を防ぐために

■衝撃や振動、圧力を避ける

- 落としたり、ぶつけたり、ポケットに入れたまま座ったり、強い振動や衝撃を与えたりしない。
  (落とさないようにハンドストラップをつける。本機にアクセサリーなどをぶら下げると圧迫の原因になることがあります)
- レンズ部や液晶モニターを強く押さえない。

■ぬらさない、異物を入れない
本機は防水構造ではありません。

- 水や雨、海水をかけない。(ぬれたら乾いた柔らかい布でふく。海水などは、先によく絞った布でふく)
- レンズ部や端子部にほこりや砂など、また、ボタンのすき間から液体などが入らないようにする。
- レンズカバー開閉時に、砂などの異物や液体が入らないようにする。

■温度や湿度の急激な変化による"つゆつき"を避ける

- 温度や湿度に差があるときは、ビニール袋に入れて周囲の温度になじませてから使う。
- レンズがくもったら電源を切り、2 時間ほど放置して周囲の温度になじませる。
- 液晶モニターがくもったら乾いた柔らかい布でふく。

■レンズについて

- レンズ部を太陽に向けたまま放置しない。

■三脚/一脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしない。(本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります)
- 三脚が安定していることを確認する。(三脚の説明書もお読みください)

■持ち運びのとき

電源を切る。
誤動作や破損を防ぐため、ソフトケース(別売：DMW-CP8)をおすすめします。
(間違って電源が入らないように、ソフトケースなどをお使いのときは、レンズカバーが開かないように出し入れしてください。)

「使用上のお願いとお知らせ」(P.96)も合わせてお読みください。

以下の場合は、故障ではありません。

- 本機を振ると「カタカタ」音がする。(レンズが移動する音)
- 電源のON/OFF、または撮影と再生の切り換え時に、「カタカタ」などの音がする。(レンズが移動する音)
- ズーム操作時に、手に振動が伝わる。(レンズ動作の振動)
- 撮影中にレンズから「カチッカチッ」などの音がする。(明るさが変化した場合の絞り動作の音)このとき、液晶モニター内の画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。

液晶モニターの特性について

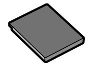
液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

付属品

付属品をご確認ください。(品番は2010年1月現在)
メモリーカードは別売です。

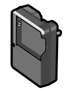
□バッテリーパック
DMW-BCH7
- 充電してからお使いください。

(本書では、「バッテリー」と表記します)

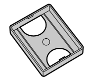


□バッテリーチャージャー
DE-A75A

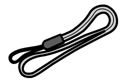
(本書では、「チャージャー」と表記します)



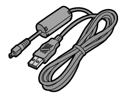
□バッテリーケース
VGQ0J54



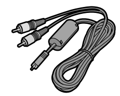
□ハンドストラップ
VFC4297



□USB 接続ケーブル
K1HA08AD0002



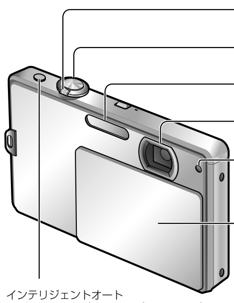
□AV ケーブル
K1HA08CD0028



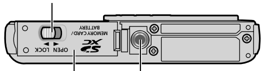
□CD-ROM
- パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。

●包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
●別売品のご紹介(P.84)

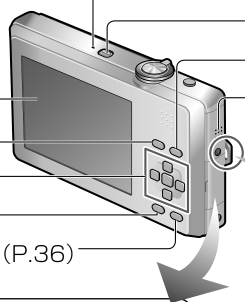
各部の名前



- ズームレバー（P.33）
- シャッターボタン(P.29、53)
- フラッシュ発光部(P.39)
- レンズ部(P.10)
- セルフタイマーランプ（P.38）/ AF補助光ランプ（P.63）
- レンズカバー（P.27）
- インテリジェントオート ボタン(P.29)

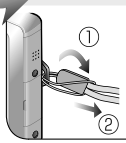


- 開閉レバー（P.15）
- 三脚取付部
- カード/バッテリー扉（P.15）

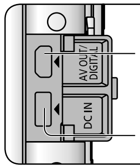


- マイク(P.53)
- 電源ボタン(P.28)
- 再生ボタン（P.35）
- スピーカー（P.21、66）
- 液晶モニター（P.37、86）
- [MODE] ボタン(P.27)
- カーソルボタン
- [DISPLAY] ボタン(P.37)
- [Q.MENU]（P.20）/消去ボタン(P.36)

ストラップ取付部



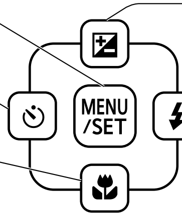
① ② 落下防止のため、ハンドストラップの使用をおすすめします。



- [AV OUT/DIGITAL] 端子（P.78、80、83)
- [DC IN] 端子(P.78、80)

● 製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。
● 付属品以外のハンドストラップを取り付けると、[AV OUT/DIGITAL]端子・[DC IN]端子の扉が開かなくなる場合があります。

カーソルボタン



MENU/SET
メニュー表示/決定/終了(P.18)

左カーソルボタン(◀)
メニュー選択位置を左に移動
• セルフタイマー（P.38）

下カーソルボタン(▼)
メニュー選択位置を下に移動
• マクロ撮影(P.41)

上カーソルボタン(▲)
メニュー選択位置を上に移動
• 露出補正(P.43)

右カーソルボタン(▶)
メニュー選択位置を右に移動
• フラッシュ (P.39)

●本書では、操作するボタンをグレーで色分けしたり、▲▼◀▶で表しています。

バッテリーを 充電する

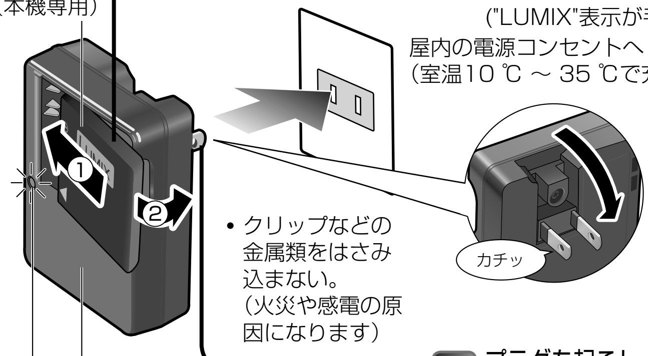
ご使用の前に、必ず充電！
(お買い上げ時には、充電されていません)

■本機で使えるバッテリー（2010年1月現在）

本機で使えるバッテリーはDMW-BCH7です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
- **本機には、安全に使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー（DMW-BCH7)は、この機能に対応しています。本機で使用できるバッテリーは、純正品と当社認証を取得した他社製バッテリーです。(この機能に対応していないバッテリーは使用できません）**
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性については一切保証できません。



バッテリー（本機専用）

1 バッテリーをしっかり取りつける
("LUMIX"表示が手前)

屋内の電源コンセントへ
(室温10 ℃ ～ 35 ℃で充電する)

• クリップなどの金属類をはさみ込まない。（火災や感電の原因になります)

チャージャー（本機専用）

2 プラグを起こし、電源コンセントへしっかり差し込む

充電ランプ(CHARGE)

点灯　: 充電中(使い切ってから充電した場合、約110分)
消灯　: 充電完了(電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す)
点滅したら • バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、通常よりも充電時間がかかります。(充電を完了できないことがあります)
• バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

バッテリーを 充電する（つづき）

撮影可能枚数と使用時間の目安

フラッシュやズーム、「液晶モード」などを多用した場合や、寒冷地の低温下などでは、下記より撮影枚数や使用時間が減少することがあります。

記録可能枚数	約300枚	CIPA規格に基づく
撮影使用時間	約150分	

●CIPA※規格の撮影条件

※CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。

- 温度23℃／湿度50%
- 通常撮影モード
- 液晶モニター ON
  （「液晶モード」の「オートパワー LCD」または「パワー LCD」使用時は記録可能枚数が減少します。）
- 当社製SDメモリーカード(32MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れ、30秒後に撮影開始(手ブレ補正「AUTO」)
- 30秒間隔で、1枚撮影
- フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとにズーム操作
  （W端→T端、またはT端→W端）
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます

撮影間隔が長いと枚数は減り、例えば上記の撮影条件において2分間隔で撮影した場合は約1/4（約75枚）になります。

再生時間	約260分

記録可能枚数/再生時間は、バッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

- ● バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。また、高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- ● 充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。
- ● 充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。
- ● 頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。
  （充電回数が増えると使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります）
- ● 著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。
  新しいバッテリーをお買い求めください。
- ● 充電するときは
  - チャージャーやバッテリーの端子部の汚れを乾いた布で取る。
  - AMラジオからは1 m離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
  - チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
  - 充電したら、電源コンセントから抜く。（放置すると、最大0.1 W電力消費）
- ● 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/

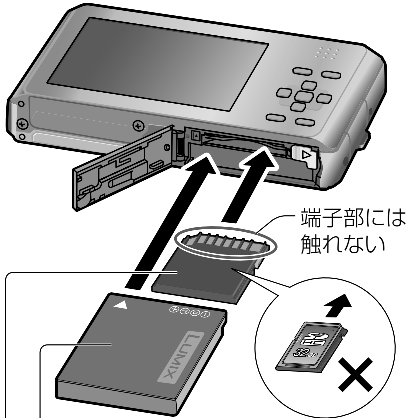
使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Li-ion 00

充電式
リチウムイオン
電池使用

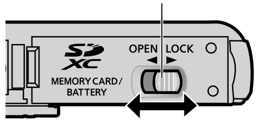
バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す



充電したバッテリー（向きを確認）

カード(端子部を液晶面に：向きを確認)

1 電源を「OFF」にし、開閉レバーを
「OPEN」にして、扉を開ける



OPEN（開く）　LOCK（閉じる）

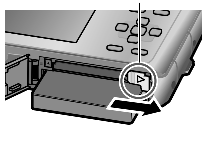
2 バッテリーとカードを奥まで入れる

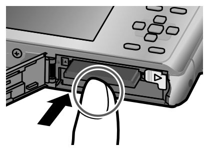
- バッテリー：レバーでロックされるまで押し込む
- カード：「カチッ」と音がするまで押し込む

3 扉を閉め、開閉レバーを「LOCK」にする

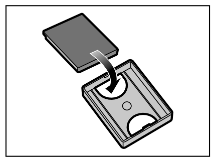
■取り出すとき

- **バッテリー：**
  レバーを矢印方向へ引く。
- **カード：**
  中央を押す。





- ●**使用後は、バッテリーを取り出してください。**
  - 取り出したバッテリーは、バッテリーケース(付属)に収納してください。



- ●カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターの表示が完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）
- ●miniSD カードやmicroSD カード/microSDHC カードは、専用アダプターが必要です。アダプターだけを本機に入れたままにしないでください。（正常に動作しません）

準備

バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す（つづき）

画像の保存先（カードと内蔵メモリー）

カードを入れているときはカード、入れていないときは内蔵メモリー「IN」に保存されます。

■内蔵メモリー（約 40 MB）に保存するとき

- カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。（P.77）
- カードよりも保存に時間がかかることがあります。
- 内蔵メモリーに記録できる動画は、「画質設定」の「QVGA」のみです。

■カード（別売）に保存するとき

SD 規格に準拠した次のカード（当社製推奨）が使用できます。

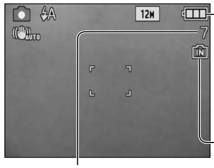
カードの種類	容量	備考
SD メモリーカード miniSDカード※/ microSDカード※	8 MB ～ 2 GB	• それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。 • SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ • 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHC メモリーカード microSDHCカード※	4 GB ～ 32 GB	
SDXC メモリーカード	48 GB ～ 64 GB	

※専用のアダプターが必要

書き込み禁止スイッチ

- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P.25）
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすると、撮影や消去、フォーマットなどができません。
- 大切な画像はパソコンなどへの保存をおすすめします。（電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります）
- 最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc/

バッテリー残量と撮影可能枚数の表示



バッテリー残量表示（バッテリー使用時のみ）

（赤点滅）

赤点滅したら、バッテリーを充電または交換してください。（P.13）

カードを入れていないときに表示（内蔵メモリーに保存されます）

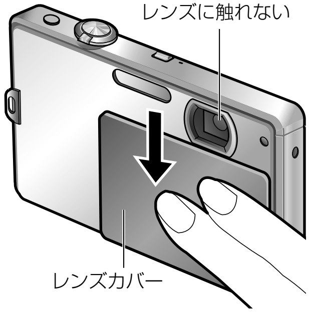
残り撮影可能枚数（P.98）

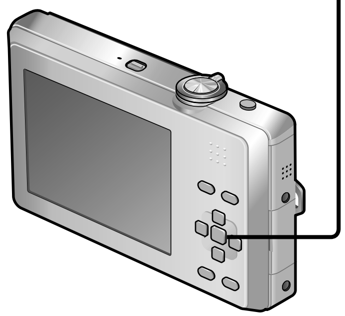
カードやメモリーへのアクセス動作中は…

（カード）、または IN（内蔵メモリー）が、赤く点灯します。

点灯中は、画像の書き込みや読み出し、消去、フォーマット中など動作中のため、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター（別売：DMW-AC5）を取り外さないでください。（データ破損や故障の原因になります）また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。それにより動作が停止した場合は再度操作してください。

時計を合わせる（お買い上げ時は設定されていません）





1 レンズカバーを下げる

電源が入り、**「時計を設定してください」**と表示されます。（お買い上げ時）

2 上記を表示中に

[MENU/SET]を押す

3 日時と表示方法を設定する

①▲▼で年を合わせ、▶を押す
②▲▼で月を合わせ、▶を押す
③同じように日・時・分を合わせ、▶を押す
④▲▼で年月日の表示順を選び、▶を押す
⑤▲▼で時刻表示形式を選び、[MENU/SET]を押す

- 中止するとき→ を押す
- 表示順と時刻表示形式の設定例※
  [年/月/日] [24時間]：2010.4.15 12：34
  [日/月/年] [AM/PM]：PM 12:34 15.APR.2010
  [月/日/年] [24時間]：12：34 APR.15.2010
  ※ [AM/PM]に設定すると、午前0:00はAM12:00、午後0:00はPM12:00で表示されます。この表示はアメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。

4 決定する

電源を入れ直し、時計表示が正しいか確認してください。（[DISPLAY]を数回押しても、日時を表示できます。）

- 前の画面に戻るとき→ を押す

時計を合わせ直す

セットアップメニュー（P.21）で「時計設定」を選び、右の 3 を行う。

- 時計設定はバッテリーを取り出しても、約3 ヵ月記憶します。（満充電のバッテリーを入れて約24時間経過した場合）

■海外旅行先の時刻を設定するとき

➡「ワールドタイム」（P.56）

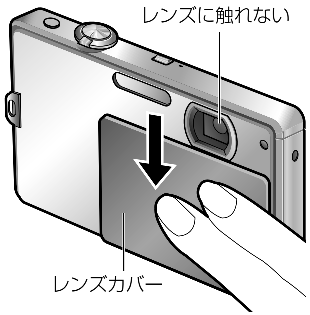
- 時計を設定しないと、お店にプリントを依頼するときや、「文字焼き込み」をした場合に正しい日付がプリントされません。
- 2000 年から2099 年まで設定できます。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

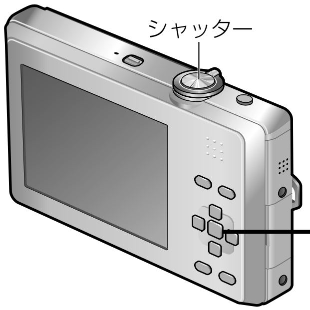
準備

メニューを使って設定する

項目により、設定の表示のしかたが異なるものがあります。
モードにより、表示されるメニュー項目は変わります。

セットアップメニュー、撮影メニュー、再生メニューは、以下の手順例を参考に操作してください。
(例) 通常撮影モード(P.31)中にセットアップメニューの「液晶モード」を変更する。





1 レンズカバーを下げる

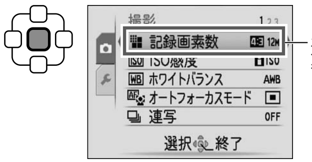
電源が入ります。

2 通常撮影モードにする

①[MODE]を押す
②▲▼で「通常撮影」を選び、[MENU/SET]を押す

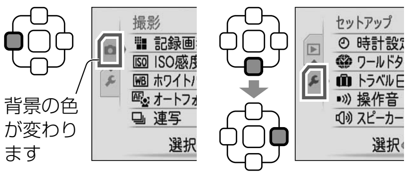
• 再生メニューを表示するときは、再生ボタンを押して再生モードに切り換えてください。

3 メニューを表示する

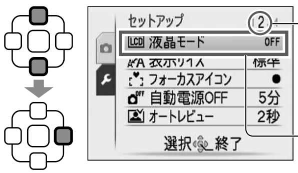


4 セットアップメニューを選ぶ

① に移動する　② を選び、メニュー項目に戻る



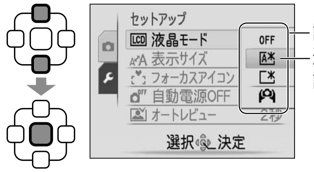
5 メニュー項目を選ぶ



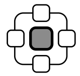
■お買い上げ時の設定に戻すとき

➡「セットアップメニュー」→「設定リセット」(P.24)

6 設定内容を選ぶ



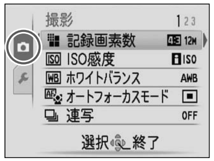
7 終了する



• 撮影モード時は、[シャッター]半押しでも終了できます。

メニューの種類

撮影メニュー(撮影モード時のみ)



お好みの設定で画像を撮影したい！(P.57 ~ 63)
• 色合いや感度、画素数などが設定できます。

セットアップメニュー

本機をより便利に使いたい！(P.21 ~ 26)
• 時計設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

再生メニュー(再生モード時のみ)

撮った画像を活用したい！(P.71 ~ 77)
• 画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

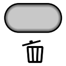
準備

メニューを使って設定する（つづき）

クイックメニューを使う

撮影時にメニュー項目を簡単に呼びだせます。

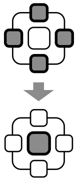
1 撮影モード中に「クイックメニュー」を表示する



クイック
メニューが
表示される
まで押す

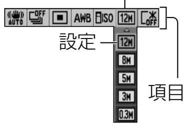
クイックメニュー項目

2 項目と設定を選び、決定する



選んで

押す
（設定完了）



設定

項目

●撮影モードにより表示されるメニュー項目と設定項目が異なります。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューの設定方法は、18ページをお読みください。
時計設定やバッテリーを長く使うための設定、操作音の切り換えなど、カメラ本体の設定ができます。

「時計設定」「オートレビュー」「自動電源OFF」は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に設定を確認してください。

（網掛け）は、お買い上げ時の設定です。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
時計設定 時計を合わせる。（P.17）	日時と表示方法を設定する。
ワールドタイム お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定する。（P.56）	**旅行先：**海外旅行先の日時にする。 **ホーム：**お住まいの地域の日時にする。
トラベル日付 旅行何日目かを記録する。（P.55）	**トラベル日付設定** OFF ／ **設定**（出発日と帰着日を記録する）
	旅行先 OFF ／ **設定**（旅行先を文字で入力する）（P.64）
操作音 操作音やシャッター音を変える。	**操作音音量** ／／：音量切／小／大から選ぶ
	操作音音色 ❶／❷／❸：操作音の種類を選ぶ
	シャッター音音量 ／／：シャッター音量切／小／大から選ぶ
	シャッター音音色 ❶／❷／❸：シャッター音の種類を選ぶ
スピーカー音量 スピーカー音量を調整する。（7 段階）	0・・LEVEL3・・LEVEL6 • テレビ接続時、テレビのスピーカーの音量は調整できません。（本機の音量を0にすることをおすすめします）

準備

セットアップメニューを使う（つづき）

セットアップメニューの設定方法は、18ページをお読みください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
LCD 液晶モード 液晶モニターを見やすくする。	OFF：通常表示（設定解除） オートパワーLCD：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整する。 パワーLCD：画面を通常よりも明るくする。（屋外向き） ハイアングル：高い位置から撮るときに見やすくする。（正面からは見にくくなります） •「オートパワーLCD」は、次のときは働きません。再生時／メニュー表示中／パソコンやプリンターに接続時 •「パワーLCD」は、撮影時に30 秒間操作をしないと元に戻ります。（いずれかのボタンを押すと再び明るくなります） •「ハイアングル」は、電源を切ると（自動電源OFF含む）解除されます。 • 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 • 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。 • 再生モードでは「オートパワーLCD」および「ハイアングル」に設定できません。 •「オートパワーLCD」および「パワーLCD」を設定すると、撮影枚数や使用時間が減少します。
表示サイズ メニューの表示サイズを変更する。	標準／大
フォーカスアイコン フォーカスアイコンを変更する。	●／✿／♡／★／♫／🚗

メニュー項目	設定内容・お知らせ
自動電源OFF 何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れる。	OFF／2 分／5 分／10 分 • 次のときは働きません。ACアダプター（別売：DMW-AC5）使用時、パソコン・プリンター接続時、動画撮影／再生時、スライドショー中、自動デモ再生中 • 次の場合は、設定が固定されます。インテリジェントオートモードは「5 分」、スライドショー一時停止中は「10 分」
オートレビュー 撮影直後に写真を自動表示する。	OFF：自動再生しない 1 秒／2 秒：1 秒間/2 秒間自動再生する ホールド：いずれかのボタン（[DISPLAY]以外）を押すまで自動再生画面のままにする • インテリジェントオートモードは、「2 秒」に固定されます。 •「連写」、シーンモードの「自分撮り」「高速連写」「フラッシュ連写」「フォトフレーム」は、設定にかかわらず撮影直後に自動表示されます。 • 動画はオートレビューできません。

セットアップメニューを使う（つづき）

セットアップメニューの設定方法は、18ページをお読みください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
設定リセット 撮影メニューとセットアップメニューの設定をお買い上げ時の設定に戻す。	**撮影設定** **はい**(撮影メニューの設定をリセットする) ／**いいえ**
	セットアップ設定 **はい**(セットアップメニューの設定をリセットする) ／**いいえ**
	• セットアップ設定をリセットした場合、以下もリセットされます。 シーンモードの「赤ちゃん」と「ペット」の月齢/年齢と名前、「トラベル日付」、「ワールドタイム」、再生メニューの「お気に入り」（「OFF」になる）、「回転表示」（「ON」になる） • フォルダー番号、時計設定はリセットされません。 • レンズ機能のリセットにより、動作音がすることがありますが、異常ではありません。
USBモード USB接続ケーブルでパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選ぶ。	**接続時に選択**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、毎回[PC]または[PictBridge(PTP)]を選ぶ **PictBridge（PTP）**：PictBridge対応プリンターに接続するときに選ぶ **PC**：パソコンに接続するときに選ぶ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ビデオ出力 テレビ接続時などに、ビデオ出力方式を変える。（再生時のみ）	**NTSC**：日本やアメリカなど **PAL**：ヨーロッパなど • AVケーブル接続時に働きます。
TV画面タイプ 接続するテレビの横縦比を選ぶ。（再生時のみ）	16:9／4:3 • AVケーブル接続時に働きます。
バージョン表示 本体のファームウェアのバージョンを確認する。	現在のバージョンが表示されます
フォーマット 「内蔵メモリーエラー」または「メモリーカードエラー」が表示されたときや、内蔵メモリーまたはカードを初期化するときに行う。 **フォーマットすると、データを元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。**	**はい**　：フォーマットする **いいえ**：フォーマットしない • 十分に充電したバッテリー（P.13）またはACアダプター（別売：DMW-AC5）が必要です。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 （カード挿入状態では、カードのみ、カードがない場合は、内蔵メモリーのみフォーマットされます） • フォーマットは、必ず本機で行ってください。 • **プロテクト（P.76）された画像も含め、すべてのデータが消去されます。** • フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。 • 内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。 • フォーマットできないときは、販売店にご相談ください。

準備

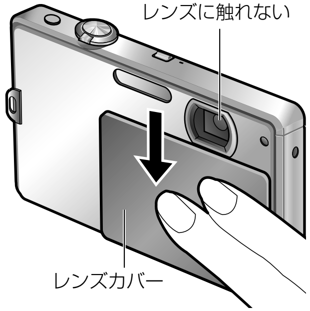
セットアップメニューを使う（つづき）

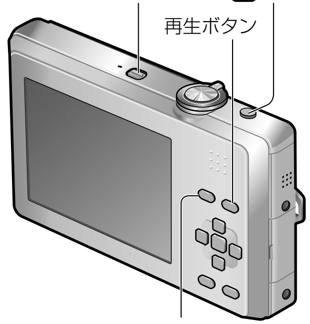
セットアップメニューの設定方法は、18ページをお読みください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
DEMO デモモード 機能のデモを見る。	**手ブレ補正デモ：**（撮影時のみ） カメラが感知した手ブレ量を表示する（目安） 大 ← 小 → 大 手ブレ量 補正後の手ブレ量 • デモ画面表示中は、[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正が「ON」と「OFF」に切り換わります。 • 再生モード時は、表示できません。 • 終了するとき→[DISPLAY]を押す • デモ画面表示中は、撮影やズームはできません。
	自動デモ：本機の特長をスライドショーで見る OFF ／ ON • 終了するとき→[MENU/SET]を押す • カードが入っていないときに、ACアダプター（別売：DMW-AC5）接続中に電源ONで約2分間、何も操作しなかった場合は、自動デモが開始されます。 •「自動デモ」はテレビなどには表示できません。

撮影の流れ

撮影の前に時計設定を確認してください。（P.17）





1 レンズカバーを下げる

電源が入ります。

2 撮影モードを選び、撮影する

■カメラ任せで撮影するとき
①iA ボタンを押す

■撮影モードを選ぶとき
①[MODE]を押す
②▲▼で撮影モードを選び、[MENU/SET]を押す

3 撮影した画像を再生する

①再生ボタンを押す
②◀▶で画像を選ぶ

■撮影モードに戻るとき
①もう一度、再生ボタンを押す
• 前回の撮影モードに戻ります。

4 レンズカバーを上げる

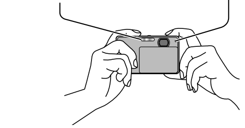
電源が切れます。
• 電源ボタンを押しても電源を切れます。

■撮影モード一覧

iA	**インテリジェントオートモード**	カメラにおまかせで撮る	P.29
📷	**通常撮影モード**	お好みの設定で撮る。	P.31
MS	**マイシーンモード**	よく使うシーンモードで撮る。	P.52
SCN	**シーンモード**	場面に合わせて撮る。	P.44
🎞	**動画撮影モード**	動画を撮る。	P.53

撮影の流れ（つづき）

■カメラの構えかた

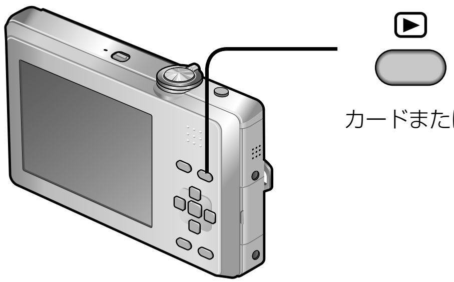


- 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開く。
- レンズを触らない。
- 動画撮影の際、マイク(P.12)を指でふさがない。
- フラッシュ発光部、AF補助光ランプをふさがない、近くで見ない。
- シャッターを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつける。

便利な電源の入れかた

レンズカバーを下げる以外に、次の方法で電源を入れることができます。

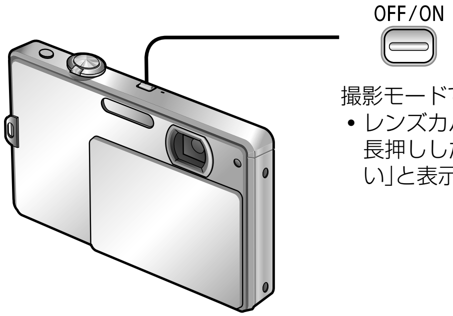
■再生モードで電源を入れたいとき



長押し

カードまたは内蔵メモリーの画像が表示されます。

■レンズカバーが下がっている状態で電源が切れているとき



長押し

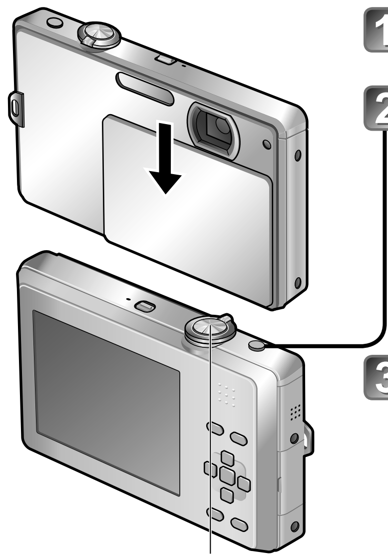
撮影モードで電源が入ります。

- レンズカバーが上がっている状態で電源ボタンを長押しした場合は、「レンズカバーを下げてください」と表示されます。

おまかせで撮る「インテリジェントオートモード」

撮影モード：iA

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、カメラまかせできれいに撮影できます。

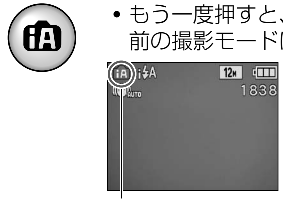


1 レンズカバーを下げる

電源が入ります。

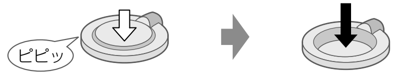
2 インテリジェントオートモードにする

- もう一度押すと、切り換える前の撮影モードに戻ります。



撮影モードアイコン(下記参照)

3 撮影する



半押し
(軽く押してピント合わせ)

全押し
(さらに押し込んで撮影)

フォーカス表示
(ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅)

判別した各シーンのアイコンを2 秒間青色で表示

■自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。

人物を認識「i人物」	夜景と人物を認識「i夜景＆人物」(i⚡A 選択時のみ)
風景を認識「i風景」	夜景を認識「i夜景」
接写を認識「iマクロ」	夕焼けを認識「i夕焼け」
どのシーンにも当てはまらないとき、被写体の動きをとらえ、ブレをおさえて撮影	

カメラが自動シーン判別を行い、被写体に人物が写っていると判断した場合(i人物 または i夜景＆人物)は、顔認識が働き、認識した顔にピントや露出を合わせます。

基本

おまかせで撮る「インテリジェントオートモード」（つづき）

撮影モード：iA

■フラッシュを使うとき

iA (iオート)または (発光禁止)を選ぶ
- iA のとき、iA と iA◎ (赤目軽減オート)と iS◎ (赤目軽減スローシンクロ) と iS (スローシンクロ)が被写体の種類や明るさに応じて自動で切り換わります。(詳しくはP.40へ)
- iA◎ と iS◎ は、デジタル赤目補正が働きます。
- iS◎ と iS は、シャッタースピードが遅くなります。

●自動シーン判別のほか、ISO感度「i ISO」、逆光補正などが自動で働きます。
●インテリジェントオートモードでは、次のメニュー項目が設定できます。
- iA (撮影メニュー)：「記録画素数※1」「連写」「カラーモード※1」
- (セットアップメニュー※2)：「時計設定」「ワールドタイム」「操作音※1」「手ブレ補正デモ」

※1 他の撮影モードと設定できる内容は異なります。
※2 セットアップメニューのその他の項目は、通常撮影モードなどで設定した内容が反映されます。

●次のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
顔の明暗/被写体の状態(大きさ、距離、色、濃淡、動き)/ズーム倍率/夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレ発生時
●意図したシーンにならないときは、目的にあった撮影モード(シーンモード：P.44)で撮影することをおすすめします。
●逆光補正について
逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより自動で逆光を補正します。
●「i夜景」「i夜景＆人物」になったときは、三脚やセルフタイマーをおすすめします。
●「i夜景」で三脚使用時などブレが少ないときは、シャッタースピードが最大8 秒になります。カメラを動かさないでください。
●次の機能は固定されます。
- オートレビュー：2 秒　• 自動電源OFF：5 分
- ホワイトバランス：AWB　• 手ブレ補正：AUTO
- オートフォーカスモード： (顔認識)※3　• AF 補助光：ON

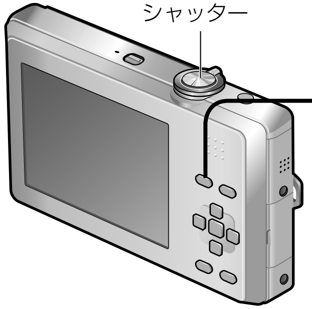
※3 顔が認識できないときは (9点)

●次の機能は使えません。
「露出補正」「デジタルズーム」

お好みの設定で撮る「通常撮影モード」

撮影モード：

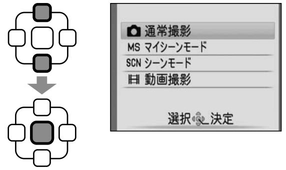
撮影メニューなど、各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。



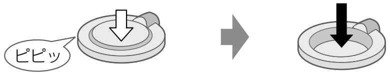
1 レンズカバーを下げる
電源が入ります。

2 撮影モード選択画面を表示する
MODE

3 「通常撮影」を選び、決定する

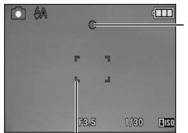


4 撮影する



半押し
(軽く押してピント合わせ)

全押し
(さらに押し込んで撮影)



フォーカス表示
(ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅)

AFエリア
(被写体にピントを合わせる。
ピントが合う：緑
ピントが合わない：赤)

■ズームを使うとき
➡(P.33)

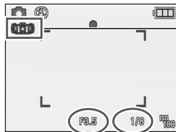
■フラッシュを使うとき
➡(P.39)

■画像の明るさを調整したいとき
露出補正 ➡(P.43)

■近づいて撮りたいとき
マクロ撮影 ➡(P.41)

■色合いを調整したいとき
ホワイトバランス ➡(P.59)

●手ブレ警告表示が表示されたときは、「手ブレ補正」、三脚、「セルフタイマー」などを使用してください。
●絞り値やシャッタースピードが赤色で表示されているときは、適正露出になっていません。フラッシュを使うか、「ISO感度」の設定を変えてください。



手ブレ警告表示

絞り値　シャッタースピード

基本

お好みの設定で撮る 「通常撮影モード」（つづき）

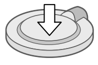
撮影モード：

お好みの場所にピントを合わせる

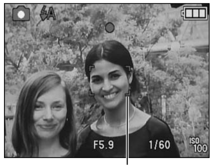
撮りたいものが中央にないときなどに便利です。

1 被写体にピントを合わせる

AFエリアを
被写体に合わせ



半押しのまま

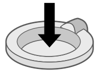


AFエリア

●次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

●**人物を撮るとき**は、「顔認識」機能をおすすめします。(P.60)

2 撮りたい構図に戻し、撮影する



全押し

AFエリア

●ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅し、「ピピピピッ」と音がします。
ピントの合う範囲が赤色で表示されますので、参考にしてください。
なお、範囲外ではフォーカス表示が点灯しても、ピントが合っていないことがあります。

ピントが合う範囲

●AFエリアは、デジタルズーム時や暗いときは、大きく表示されます。
●[シャッター]を半押しすると、一時的に一部の表示以外は画面から消えます。

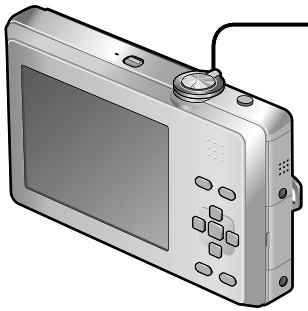
縦位置検出機能について

カメラを縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。
(「回転表示」を「ON」に設定している場合のみ)
●レンズの付いた面を上や下に向けて撮影した写真や、他機で撮影した写真は、回転されない場合があります。また、本機を上下逆さまにして撮影したものは、自動で回転表示されません。
●動画は、縦向きに表示できません。

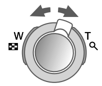
ズームで撮る

撮影モード：MS SCN

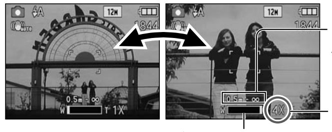
「光学ズーム」では4 倍、記録画素数を下げると「EX光学ズーム」が働き、最大7.8倍までズームできます。さらにズームしたいときは「デジタルズーム」が使えます。



1 ズームする



W側（広角）：1 倍　T側（望遠）：～４ 倍



●ピント（シャッターボタン半押し）は、ズームした後に合わせてください。

光学ズームとEX光学ズーム

記録画素数(P.57)が最大のときは「光学ズーム」、それ以外のときは、よりズーム可能な「EX光学ズーム」に自動で切り換わります。(EZは、extended optical zoomの略で、EX光学ズームを表します。)

- 光学ズーム

ーズームバー

- EX光学ズーム

ー（EZ を表示）

●記録画素数別の最大ズーム倍率

	光学ズーム	EX 光学ズーム		
記録画素数	12 M～9 M	8 M EZ	5 M EZ	3 M EZ 以下
最大ズーム倍率	4 倍	4.9 倍	6.3 倍	7.8 倍

●EX光学ズームのしくみ
記録画素数を「3 M EZ」（300 万画素相当）に設定すると、CCD の持つ有効画素数の領域のうち、3 M分の中央部を切り取って撮影するので、より高い倍率で撮影できます。
●倍率、画面のバー表示は目安です。

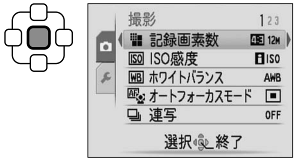
ズームで撮る（つづき）

撮影モード：iA 📷 MS SCN 🎞

「🔲 デジタルズーム」さらに拡大して撮る

光学ズーム/EX光学ズームの4 倍までズームできます。
（ただし、デジタルズームでは、ズームするほど画質は粗くなります）

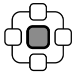
1 「撮影メニュー」を表示する



2 「デジタルズーム」を選ぶ

3 「ON」を選び、決定する

4 メニューを終了する



画面のズームバーに、デジタルズーム領域が表示されます。

- 16 倍のとき

16x

デジタルズーム領域

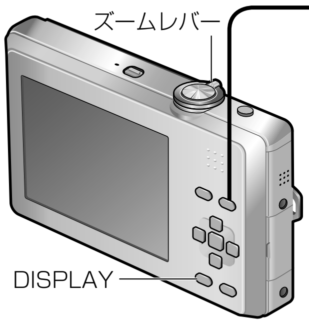
- デジタルズーム領域に入るとき、ズームの動きが一瞬止まります。
- デジタルズーム領域で[シャッター]を半押しすると、AFエリアが大きくなります。
- 三脚と「セルフタイマー」をおすすめします。

●近くの被写体を広角で撮るほど画像がゆがんだり、望遠にするほど被写体の輪郭などに着色して撮影されることがあります。
●ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。
●EX光学ズーム時、途中でズームの動きが一瞬止まりますが、故障ではありません。
●次のとき、EX光学ズームは働きません。
ズームマクロ、動画撮影、シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「フォトフレーム」
●次のとき、デジタルズームは働きません。
iA（インテリジェントオートモード）、シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「サンドブラスト」「フォトフレーム」

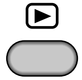
画像を見る（通常再生）

再生モード：▶

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。



1 再生ボタンを押す



- もう一度、再生ボタンを押すと、撮影モードになります。

2 画像を見る

ファイル番号
画像番号/トータル枚数

- シャッターボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

■拡大するとき「再生ズーム」

T側に回す

現在のズーム位置
（1 秒間表示）

- T側に回すごとに1/2/4/8/16 倍の4 段階にズームします。（表示画質は粗くなる）
- 倍率を戻すとき→W側に回す
- ズーム位置を変えるとき→▲▼◀▶で移動する

■一覧で見るとき
（マルチ再生/カレンダー再生）
➡(P.65)

■いろいろな再生方法で見るとき
（スライドショーなど）
➡(P.67)

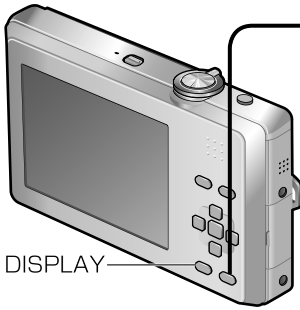
■動画を再生するとき
➡(P.66)

●長押しすると早送り／早戻しできます。
（押している間はファイル番号だけが変わり、放すと画像を表示します）
また、押し続けるとより早く送れます。
（再生の状況により、送る速さが変わります）
●画像番号が表示されていないときは、[DISPLAY]を押してください。
●最後の画像の次は、最初に戻ります。
●パソコンで編集した画像は、本機で再生できない場合があります。
●本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

画像を消す（消去）

再生モード：▶

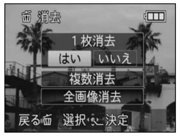
カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を消去します。（一度消した画像は元に戻せません）



1 消去する画像を表示中に押す

Q.MENU

2 「はい」を選び、決定する

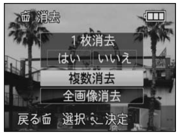


- 消去中は、電源を切らないでください。

複数(50 枚まで) /全画像を消去する

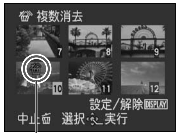
（手順 1 の後に）

2 「複数消去」/「全画像消去」を選び、決定する



- 「全画像消去」するとき →手順 5 へ

3 画像を選び、決定する（くり返す）



DISPLAY

選んだ画像

- 解除するとき →再度 [DISPLAY] を押す

4 実行する

5 「はい」を選び、決定する

(例)

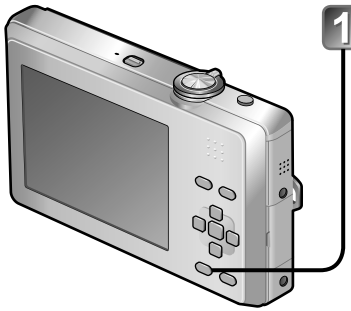
- 中止するとき→[MENU/SET]を押す
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- 「全画像消去」のとき「お気に入り」画像があり「ON」にしていると、「★(お気に入り)以外全消去」が選べます。(P.74)

●十分に充電したバッテリーか、ACアダプター（別売：DMW-AC5)をご使用ください。
●プロテクトした画像は消去されません。また、次の場合も消去されません。
 • カードのスイッチが「LOCK」になっている • DCF規格(P.35)以外の画像
●動画も消去できます。
●「フォーマット」を行うと、プロテクトされた画像も含め、すべてのデータを消去できます。

撮影情報などの

表示を切り換える

ガイドラインや撮影情報などの液晶モニターの表示を切り換えられます。

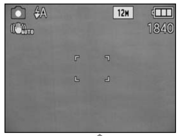


1 押して表示を切り換える

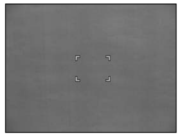
DISPLAY

●撮影時

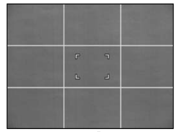
撮影情報



表示なし

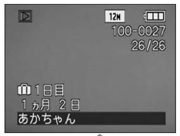


ガイドライン表示



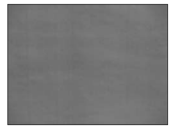
●再生時

画像情報



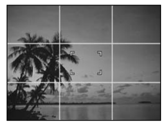
画像情報＋撮影情報

表示なし



■ガイドライン

- 撮影時、バランスなど構図の参考にします。

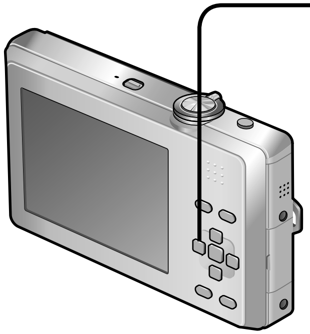


●再生ズーム中、動画再生中、スライドショー再生中は、表示/非表示の切り換えのみになります。
●メニュー表示中、マルチ再生中やカレンダー再生中は、表示を切り換えられません。
●シーンモードの「フォトフレーム」では、ガイドラインは表示されません。

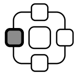
セルフタイマーで撮る

撮影モード：iA 📷 MS SCN

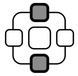
三脚の使用をおすすめします。セルフタイマーを2 秒に設定すると、[シャッター]を押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。



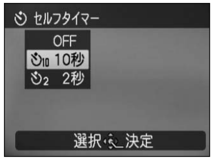
1 「セルフタイマー」を表示する



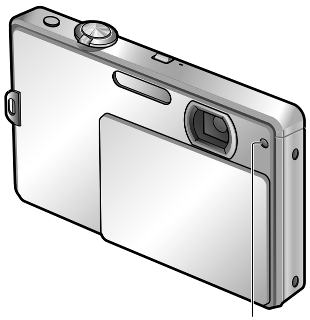
2 時間を選び、決定する



（◀でも選べます）



- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。



セルフタイマーランプ
（設定時間、点滅）

3 撮影する

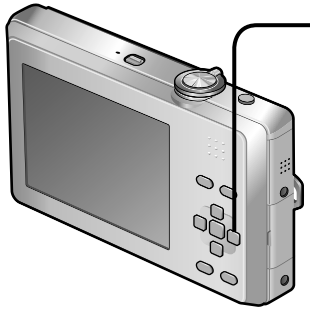
[シャッター]を全押しすると、設定時間後に撮影します。

- カウントダウン中に中止するとき→[MENU/SET]を押す

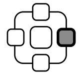
●連写設定時は3 枚、シーンモードの「フラッシュ連写」時は5 枚撮影されます。
●[シャッター]を一度に全押ししても、撮影直前にカメラが自動的にピントを合わせます。
●セルフタイマーランプは点滅後、AF補助光として点灯することがあります。
●シーンモードの「高速連写」では使用できません。
●シーンモードの「自分撮り」では「10 秒」は選べません。

フラッシュで撮る

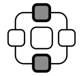
撮影モード：iA 📷 MS SCN



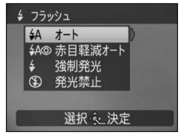
1 「フラッシュ」を表示する



2 種類を選び、決定する



（▶でも選べます）



（通常撮影モード(📷)の例）

- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

●フラッシュを使って乳幼児を撮影するときは、1 m以上離れてください。

	種類と動作	こんなときに
ϟA	オート • 発光する／しないを自動で判断	通常使用
ϟA◎	赤目軽減オート※1 • 発光する（赤目をおさえる）／しないを自動で判断	暗い場所で人物を撮る
ϟ	強制発光 • 必ず発光する	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
ϟ◎	赤目軽減強制発光※1 • 必ず発光する（赤目をおさえる）	
ϟS◎	赤目軽減スローシンクロ※1 • 発光する（赤目をおさえ、シャッタースピードを遅くして明るく撮る）／しないを自動で判断	夜景を背景に人物を撮る（三脚をおすすめします）
⊘	発光禁止 • 発光しない	フラッシュ禁止の場所

※1 フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。
撮影メニューの「デジタル赤目補正」を「ON」にすると、アイコンに が表示され、赤目を自動的に検出して写真データを修正します。（「オートフォーカスモード」が （顔認識）のときのみ）

●シャッタースピードは次のようになります。
- ϟA 、ϟA◎、ϟ 、ϟ◎：1/30 ～ 1/1600 秒
- ϟS◎、⊘：1/8※2 ～ 1/1600 秒

※2 ISO感度「 i ISO 」設定時は最大1/4 秒、「手ブレ補正」を「OFF」にしたときやブレが少ないときは最大1 秒。その他、「インテリジェントオートモード」と「シーンモード」のシーン、ズーム位置などによって異なる。

●赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

フラッシュで撮る（つづき）

撮影モード：iA 📷 MS SCN

■撮影モード別の使えるフラッシュの種類（ ▭ ：お買い上げ時の設定）

	📷	iA	シーンモード																		
⚡A	○	○※	○	○	○	○	**○**	×	○	×	×	○	○	○	×	×	**○**	**○**	**○**
⚡A◎	○	×	**○**	**○**	**○**	**○**	×	×	×	×	×	**○**	×	×	×	×	×	×	○
⚡	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	**○**	**○**	○	○	○
⚡◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
⚡S◎	×	×	×	×	×	×	×	**○**	×	**○**	○	×	×	×	×	×	×	×	×
⊘	○	○	○	○	○	○	○	○	**○**	○	**○**	○	**○**	**○**	×	○	○	○	○

※ 被写体や明るさに応じて、i⚡A（オート）、i⚡A◎（赤目軽減オート）、i⚡S◎（赤目軽減スローシンクロ）、i⚡S（スローシンクロ）になります。

- 動画モードや、シーンモードの ▣、▣、▣、▣、▣、▣、▣ では、フラッシュは使えません。

■ISO感度とズームによるフラッシュ撮影可能範囲

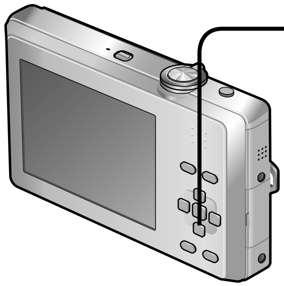
		撮影可能範囲	
		ズームW端	ズームT端
ISO感度(P.58)	i ISO	約　0.3 ～ 4.9 m	約 0.5 ～ 2.9 m
	ISO80	約　0.3 ～ 1.0 m	約 0.5 ～ 0.6 m
	ISO100	約　0.3 ～ 1.2 m	約 0.5 ～ 0.7 m
	ISO200	約　0.4 ～ 1.7 m	約 0.5 ～ 1.0 m
	ISO400	約　0.6 ～ 2.4 m	約 0.6 ～ 1.4 m
	ISO800	約　0.8 ～ 3.4 m	約 0.6 ～ 2.0 m
	ISO1600	約 1.15 ～ 4.9 m	約 0.9 ～ 2.9 m
シーンモードの高感度(P.49)	ISO1600 ～ ISO6400	約 1.15 ～ 9.8 m	約 0.9 ～ 5.8 m
シーンモードのフラッシュ連写(P.50)	ISO100 ～ ISO3200	約　0.3 ～ 3.2 m	約 0.5 ～ 1.9 m

- ●フラッシュ発光部(P.12)を手でふさいだり、近く(数cm)で見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。(熱や光で変形することがあります)
- ●撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。
- ●ISO感度が「i ISO」に設定されていると、ISO感度は最大1600までの範囲で自動設定されます。
- ●シーンモードを変えると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
- ●フラッシュ発光時は、[シャッター]を半押しすると ⚡A（オート)などのマークが赤になります。
- ●⚡A（オート)などのマークが点滅中はフラッシュ充電中のため、撮影できません。
- ●光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。
- ●シャッタースピードが速い場合、効果が十分得られないことがあります。
- ●バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。

近づいて撮る

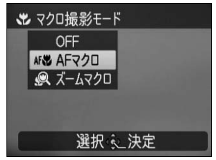
撮影モード：📷 🎞

被写体を大きく撮影したいとき、「AFマクロ(AF🌷)」にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて(W端なら10 cmまで)撮影できます。



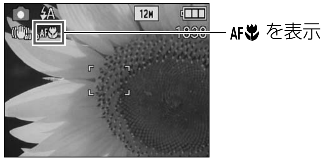
1 「マクロ撮影モード」を表示する

2 「AFマクロ」を選び、決定する



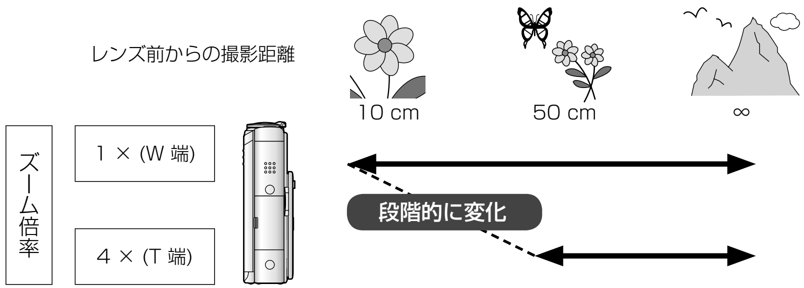
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

3 撮影する



- ●被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに多少時間がかかります。
- ●iA(インテリジェントオートモード)を使うと、自動でマクロ撮影を判別できるので便利です。(i🌷 表示時)

■AF マクロ撮影時のピントの合う範囲



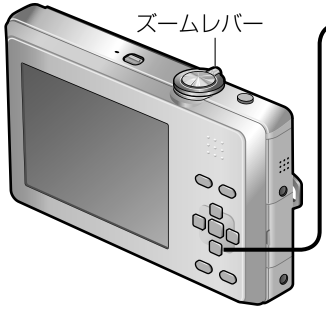
- ●ズームマクロ撮影時は、ズームの位置にかかわらず、ピントの合う範囲は10 cm～∞になります。

近づいて撮る（つづき）

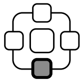
撮影モード：📷 🎞

「ズームマクロ」もっとアップで撮る

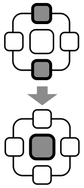
被写体をさらに大きく撮影したいときは、「ズームマクロ」にすると「AFマクロ」撮影よりも大きく写し出すことができます。

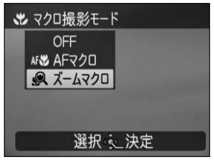


1 「マクロ撮影モード」を 表示する



2 「ズームマクロ」を選び、決定する

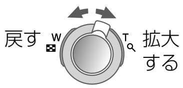


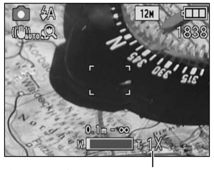


- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

3 ズームレバーでデジタルズームの倍率を調節する

ズーム位置はW端固定となります。
ピントの合う距離は、10 cm ～ ∞ です。





デジタルズーム倍率(1倍～ 3倍)

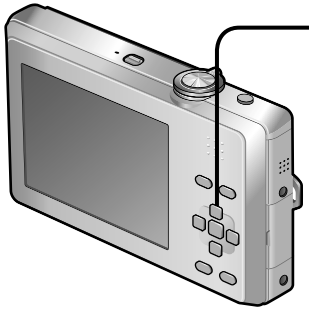
4 撮影する

- ズームマクロでは、倍率を上げるほど画質は粗くなります。
- ズームマクロを設定すると、EX光学ズームは働きません。
- 三脚や「セルフタイマー」の使用、「フラッシュ」は「発光禁止」 での撮影をおすすめします。
- 被写体が近い場合、ピントを合わせた後にカメラを動かすと、ピントが合いにくくなります。
- 画像周辺の解像度が少し下がる場合があります。

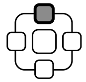
露出を補正して撮る

撮影モード：📷 MS SCN 🎞

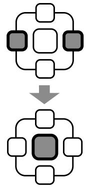
逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。
（明るさによっては、補正できない場合があります）



1 「露出補正」を表示する



2 値を選び、決定する



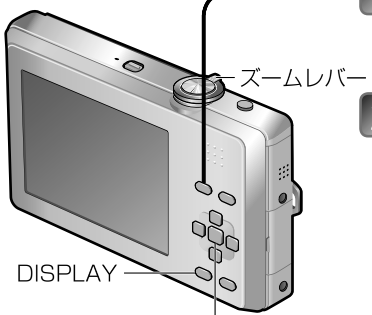
- 露出補正後は、画面左下に補正値(など)が表示されます。
- 設定した露出補正値は、電源をOFFにしても記憶されます。
- シーンモードの「星空」では、露出補正ができません。

場面に合わせて撮る「シーンモード」

撮影モード：MS SCN

シーンモードのフラッシュについて(P.40)

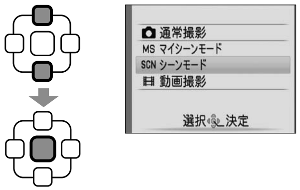
シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定(露出や色調など)で撮影できます。



1 撮影モード選択画面を表示する

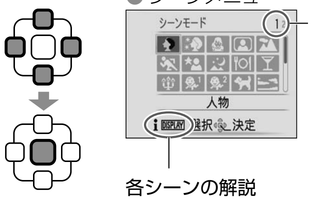
MODE

2 「シーンモード」を選び、決定する



3 シーンを選び、決定する

● シーンメニュー



ズームレバーでも次の画面に切り換えられます。

各シーンの解説
シーンを選び、[DISPLAY]を押す

■よく使うシーンを登録する

➡ マイシーンモード(P.52)

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
人物	昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。 撮影のコツ • 被写体にできるだけ近づく。 • ズーム：できるだけ望遠(T側)で。	• オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。
美肌	明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。胸から上の撮影に効果的です。 撮影のコツ • 被写体にできるだけ近づく。 • ズーム：できるだけ望遠(T側)で。	• 明るさにより、効果がわかりにくい場合があります。 • オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。 • 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。
変身	被写体をスリムまたはグラマラスに。 ① ▲▼で変身のレベルを選び、[MENU/SET]で決定する • クイックメニューでも、設定の変更ができます。 ② 撮影する 「変身」で撮影するときは • 個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。 • 公序良俗に反する目的や、ひぼう中傷目的で利用しないでください。 • 被写体の利益を損なうような利用はしないでください。	• 撮影時に肌をきれいに見せる処理をしています。 • 画質が少し粗くなります。 • 「記録画素数」は、以下のように固定されます。 4:3 のとき：3 M 3:2 のとき：2.5 M 16:9 のとき：2 M • オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。 • 「スリム強」または「グラマラス強」のときは、顔認識が働きにくくなります。 • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/連写

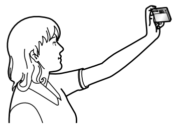
●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。
●次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。(また、シーンによって、設定できない項目があります)
「ISO感度」「カラーモード」
●ホワイトバランスは、次のシーンでのみ設定できます。(シーンを変えると「AWB」に戻ります)「人物」「美肌」「変身」「自分撮り」「スポーツ」「赤ちゃん」「ペット」「高感度」「高速連写」「フォトフレーム」
●フラッシュは、シーンによって使える種類が異なります(P.40)。また、シーンを変えるとお買い上げ時の設定に戻ります。
●ガイドラインは、次のシーンではグレーで表示されます。
「夜景＆人物」「夜景」「星空」「花火」

応用・撮影

場面に合わせて撮る「シーンモード」(つづき)

撮影モード：MS SCN

シーンモードの選びかた(P.44)
シーンモードのフラッシュについて(P.40)

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
自分撮り	自分で自分を撮る。  撮影のコツ • [シャッター]半押し→ピントが合うとセルフタイマーランプ点灯(点滅：ピントが合っていない)→全押し(撮影後は、自動的にレビューされます) • ピントが合う範囲　W端：30 cm ～ 1.2 m • ズームしない。(ズームするとピントが合いにくくなります。また、他のシーンから「自分撮り」に移ると、ズームは自動的にW端の位置に移動します。) • セルフタイマーを「2 秒」に設定する。	• 次の機能は固定です。 セルフタイマー：OFF/2 秒 手ブレ補正：MODE2 AF補助光：OFF • オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。
風景	広がりのある遠くの被写体をくっきりと。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。	• 次の機能は固定です。 フラッシュ： (発光禁止) AF補助光：OFF
スポーツ	スポーツなど、動きの速いシーンに。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。	• 「手ブレ補正」設定時にブレの量が少ないとき、または「手ブレ補正」が「OFF」のときにシャッタースピードは最大1秒になります。 • 次の機能は固定です。 ISO感度：ISO (最高1600までの範囲で自動設定されます)
夜景&人物	人物と夜景を、見た目に近い明るさで。 撮影のコツ • フラッシュを使う。 • 被写体はなるべく動かない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 • W端(広角)にして1.5 m離れる (ピント:80 cm(W端)/1.2 m(T端)～5 m)	• 「手ブレ補正」設定時にブレの量が少ないとき、または「手ブレ補正」が「OFF」のときにシャッタースピードは最大1秒(ただし、フラッシュが (発光禁止)の場合は最大8秒)になります。 • 暗いとノイズが目立つことがあります。 • 撮影後、シャッターが最大8 秒間閉じたままになることがあります。 • オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。

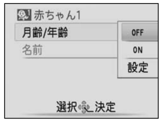
シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
夜景	夜景を鮮やかに。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 • 三脚、セルフタイマーを使う。	• 「手ブレ補正」設定時にブレの量が少ないとき、または「手ブレ補正」が「OFF」のときにシャッタースピードは最大8秒になります。 • 暗いとノイズが目立つことがあります。 • 撮影後、シャッターが最大 8 秒間閉じたままになることがあります。 • 次の機能は固定です。 フラッシュ： (発光禁止) ISO感度：ISO80 ～ 800 AF補助光：OFF
料理	周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。 撮影のコツ • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：10 cm以上 T端：50 cm以上	–
パーティー	室内の結婚式など、人物と背景を明るく。 撮影のコツ • 被写体から約 1.5 m離れる。 • ズーム：広角(W側) • フラッシュを使う。 • 三脚、セルフタイマーを使う。	• オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。
キャンドル	ろうそくの明かりの雰囲気を引き立てる。 撮影のコツ • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：10 cm以上 T端：50 cm以上 • フラッシュを使わない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 (シャッタースピード：最大1 秒)	• 「手ブレ補正」設定時にブレの量が少ないとき、または「手ブレ補正」が「OFF」のときにシャッタースピードは最大1秒になります。 • オートフォーカスモードの初期設定は (顔認識)です。

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

撮影モード：MS SCN

シーンモードの選びかた(P.44)
シーンモードのフラッシュについて(P.40)

<table>
<tr><th>シーン</th><th>こんなときに・コツ</th><th>お知らせ</th></tr>
<tr><td>赤ちゃん</td><td>赤ちゃんの肌を健康的に。また、フラッシュ発光時は弱めの光で発光。

• 赤ちゃんの誕生日と名前を設定する。
（「赤ちゃん1」「赤ちゃん2」に別々に設定できます）

① ▲▼で「月齢/年齢」または「名前」を選んで▶を押し、「設定」を選んで[MENU/SET]を押す。
② 誕生日や名前を設定する。
誕生日：▲▼◀▶で誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す。
名前：(文字入力方法：P.64)
③ [MENU/SET]を押して終了する。

撮影のコツ
• 撮影前に、「月齢/年齢」と「名前」が「ON」になっていることを確認してください。
• リセットするとき→「セットアップメニュー」の「設定リセット」で、「セットアップ設定」を「はい」にする
• ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ)
W端：10 cm以上
T端：50 cm以上</td><td>• このモードにしたとき、月齢/年齢と名前を約 5 秒間画面表示します。
• 「手ブレ補正」設定時にブレの量が少ないとき、または「手ブレ補正」が「OFF」のときにシャッタースピードは最大1秒になります。
• 「名前」や「月齢/年齢」は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の「文字焼き込み」（P.71）で写真に焼き込むことができます。
• 生まれた日は「0 ヵ月0日」になります。
• 次の機能は固定です。
ISO感度：i ISO
(最高1600までの範囲で自動設定されます)
• オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。</td></tr>
<tr><td>ペット</td><td>月齢/年齢や名前を記録して撮る。

撮影のコツ
• 「赤ちゃん」（上記)と同じ。</td><td>• 「手ブレ補正」設定時にブレの量が少ないとき、または「手ブレ補正」が「OFF」のときにシャッタースピードは最大1秒になります。
• 初期設定が次のようになります。
オートフォーカスモード：
■（1点）
AF補助光：OFF
• その他のお知らせ、固定される機能は「赤ちゃん」（上記)と同じです。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>シーン</th><th>こんなときに・コツ</th><th>お知らせ</th></tr>
<tr><td>夕焼け</td><td>夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。</td><td>• 次の機能は固定です。
ISO感度：ISO80
フラッシュ：（発光禁止）
AF補助光：OFF</td></tr>
<tr><td>高感度</td><td>薄暗い室内で被写体のブレをおさえる。

▲▼で記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]で決定する。

撮影のコツ
• ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ)
W端：10 cm以上
T端：50 cm以上</td><td>• 高感度処理のため、画質が少し粗くなります。
• 次の機能は固定です。
ISO感度：ISO1600 ～ 6400
• 次の機能は設定できません。
EX光学ズーム/デジタルズーム</td></tr>
<tr><td>高速連写</td><td>速い動きや瞬間を撮る。

① ▲▼で記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]で決定する

② 撮影する([シャッター]長押し)
[シャッター]を押している間、写真を連続して撮影します。
<table><tr><td>最高速度※</td><td colspan="2">約 5.5 コマ/秒</td></tr><tr><td rowspan="2">連写枚数※</td><td>内蔵メモリー</td><td>約 15 枚以上</td></tr><tr><td>カード</td><td>約 15 ～ 100 枚
(最大 100 枚)</td></tr></table>※撮影条件やカードによって異なります。

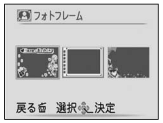
撮影のコツ
• ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ)
W端：10 cm以上
T端：50 cm以上</td><td>• フォーマット直後は連写枚数が増える場合があります。
• 画質が少し粗くなります。
• 次の機能は固定です。
フラッシュ：（発光禁止）
ISO感度：ISO500 ～ 800
• ピント、ズーム、露出補正、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1 枚目の設定に固定されます。
• 次の機能は設定できません。
EX光学ズーム/デジタルズーム/セルフタイマー /連写
• 撮影をくり返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。</td></tr>
</table>

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

撮影モード：MS SCN

シーンモードの選びかた(P.44)
シーンモードのフラッシュについて(P.40)

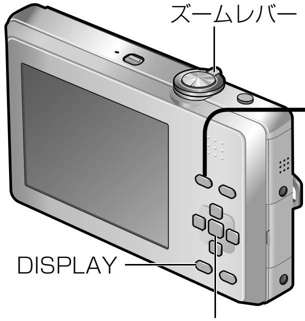
シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
フラッシュ連写	暗いところで連写したいときに。 ① ▲▼で記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]で決定する ② 撮影する([シャッター]長押し) [シャッター]を押している間、写真を連続して撮影します。 連写枚数：最大5枚 撮影のコツ • フラッシュの届く範囲で撮影してください。(P.40) • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：10 cm以上 T端：50 cm以上	• 画質が少し粗くなります。 • 次の機能は固定です。 フラッシュ：（強制発光） ISO感度：ISO （最高3200までの範囲で自動設定されます） • ピント、ズーム、露出補正、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1 枚目の設定に固定されます。 • シャッタースピードは1/30 ～1/1600秒になります。 • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/連写 • 39ページもお読みください。
星空	星空や暗い被写体を鮮明に。 • シャッタースピードの選択 ① ▲▼で選び、[MENU/SET]を押す。 • クイックメニューでも秒数を変えられます。(P.20) ② [シャッター]を押す。 カウントダウンが始まる 撮影のコツ • 暗いときは、シャッタースピードを長く設定する。 • 必ず三脚を使う。 • セルフタイマーを使う。 • 上記画面のカウントダウンが終了するまでカメラを動かさない。(このあと、処理のためのカウントダウンが再度表示されます)	• 次の機能は固定です。 フラッシュ：（発光禁止） ISO感度：ISO80 手ブレ補正：OFF • 次の機能は設定できません。 連写/露出補正

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
花火	夜空に上がる花火をきれいに。 撮影のコツ • 被写体から10 m以上離れる。 • 三脚を使う。	• シャッタースピードは1/4 秒に、またブレが少ないときや手ブレ補正が「OFF」のときは2 秒に固定されます。(露出補正するとシャッタースピードは変わります) • 次の機能は固定です。 フラッシュ：（発光禁止） ISO感度：ISO80 AF補助光：OFF
ビーチ	海や空の青色を鮮明に、人物を暗くしない。	• オートフォーカスモードの初期設定は（顔認識）です。 • ぬれた手で触らないでください。 • カメラに砂や海水がかからないように気をつけてください。
雪	スキー場や雪山で、雪景色を自然な色で。	• 気温が低いときはバッテリーの使用時間が短くなります。
空撮	飛行機からの窓越しの景色に。 撮影のコツ • 濃淡のある部分にピントを合わせる。 • 室内の景色が窓に映らないか確認する。 • 被写体から5 m以上離れる。	• 次の機能は固定です。 フラッシュ：（発光禁止） AF補助光：OFF • **離発着時は電源を切ってください。** • **ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。**
サンドブラスト	ざらざらとした感じの白黒画像に。 撮影のコツ • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：10 cm以上 T端：50 cm以上	• 次の機能は固定です。 ISO感度：ISO1600 • 次の機能は設定できません。 デジタルズーム/連写
フォトフレーム	フレームを一緒に焼き込む。 ◀▶でフレームを選び、[MENU/SET]で決定する 	• 記録画素数は2 M（4:3）となります。 • 次の機能は固定です。 オートレビュー：2 秒 • 画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される写真のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。 • ガイドライン表示はできません。 • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/連写

よく使うシーンを登録する 「マイシーンモード」

撮影モード：MS

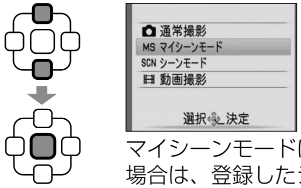
MS には、よく使うシーンモードを登録しておくことができます。
登録後は、マイシーンモードに切り換えるだけで、登録したシーンモードで撮影できます。



1 撮影モード選択画面を表示する

MODE

2 「マイシーンモード」を選び、決定する

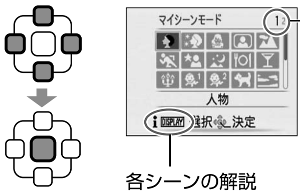


マイシーンモードに登録済みの場合は、登録したシーンが表示されます。

3 シーンを選び、決定する

（シーンメニューが表示されないときは、[MENU/SET]を押し、SCN を選び▶を押す）

● シーンメニュー



ズームレバーでも次の画面に切り換えられます。

各シーンの解説
シーンを選び、[DISPLAY]を押す

■登録したシーンで撮影するとき

①[MODE]を押す
②▲▼で登録したシーンを選び、決定する

■登録したシーンを変更するとき

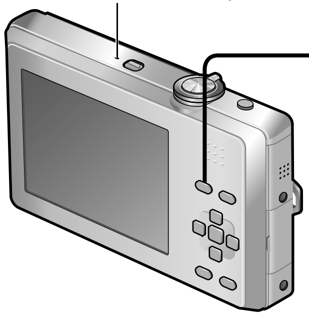
①[MODE]を押す
②▲▼で登録したシーン（上から2 段目）を選び、[MENU/SET]を押して決定する
③[MENU/SET]を押し、SCN を選び▶を押す
④シーンメニューからシーンを選び、決定する

●登録したシーンの詳細については、シーンモードのページをお読みください(P.44)。
●セットアップメニューの「設定リセット」で「撮影設定」をリセットすると、登録したシーンモードが解除されます。

動画を撮る 「動画撮影モード」

撮影モード：動画

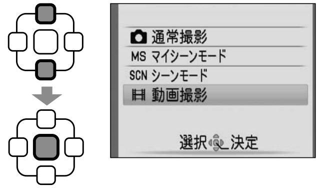
音声付き動画を記録します。（音声なしの記録はできません）



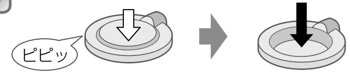
1 撮影モード選択画面を表示する

MODE

2 「動画撮影」を選び、決定する

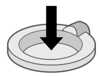


3 撮影を開始する



• ピント・ズームは撮影を開始したときの状態で固定されます。

4 終了する



• 動画を連続して記録できるのは、約 2 GBまでです。（撮影可能時間も約 2 GBで計算して表示されます）2 GB以上記録したいときは、再度[シャッター]を押してください。

■動画を再生するとき

➡ （P.66）

●記録可能時間については、98 ページをお読みください。
●カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
●[シャッター]は全押し後すぐに放してください。
●次の機能は使えません。
EX 光学ズーム、縦撮影時の自動回転表示
●オートフォーカスモードは (9点)固定となります。
●手ブレ補正は、「MODE1」固定となります。
●空き容量がなくなると自動終了します。また、カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。

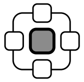
動画を撮る 「動画撮影モード」（つづき）

撮影モード：🎞

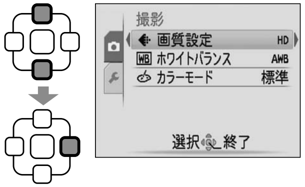
「⇚ 画質設定」動画の画像サイズを変更する

動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードをお使いください。
※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

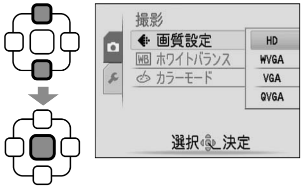
1 撮影メニューを表示する



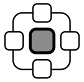
2 「画質設定」を選び、決定する



3 画質を選び、決定する



4 メニューを終了する



画質設定	画像サイズ	コマ数	画像横縦比
HD	1280×720 画素	30 コマ/秒	16：9
WVGA	848×480 画素		
VGA	640×480 画素		4：3
QVGA※	320×240 画素		

※ 内蔵メモリーに撮る場合は、「QVGA」固定となります。

- ●動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- ●動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはAC アダプター（別売）の使用をおすすめします。
- ●AC アダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やAC アダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。
- ●本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。
また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- ●本機で撮影した動画を、2008 年7 月以前に発売された当社製デジタルカメラ（LUMIX）で再生することはできません。（2008 年7 月以前に発売された当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影した動画を、本機で再生することは可能です）

旅行先で便利な機能

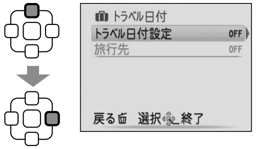
撮影モード：iA※ 📷 MS SCN 🎞　　※記録のみ（設定不可）

「🧳トラベル日付」旅行日と旅先を記録する

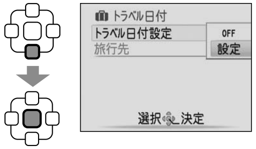
出発日と旅行先を設定して撮影すると、旅行何日目にどこで撮影したかが記録されます。

操作： • 時計の設定が必要です(P.17)
• [MENU/SET]を押す→「🔧セットアップメニュー」→「トラベル日付」を選ぶ

1 「トラベル日付設定」を選ぶ



2 「設定」を選び、決定する

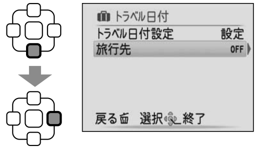


3 出発日を設定し、決定する

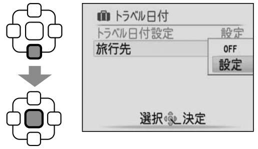
4 ▲▼◀▶で帰着日を設定し、[MENU/SET]で決定する

帰着日を設定しないときは、何も入力せず[MENU/SET]を押す。

5 「旅行先」を選ぶ



6 「設定」を選び、決定する



7 旅行先を入力する

- 文字入力方法(P.64)
- 文字入力終了後、[MENU/SET]を 2 回押してメニューを終了する

■解除するとき

➡ 帰着日を過ぎると自動的に解除されます。途中で解除する場合は、手順 2 で「OFF」を選び、[MENU/SET]を3 回押してメニューを終了する。

- ●トラベル日付を設定すると、再生モードから撮影モードへの切換時や電源を入れたときに画面下に経過日数が約 5 秒間表示されます。（画面右下に 🧳 を表示）
- ●「ワールドタイム」（次ページ）で旅行先を設定したときは、旅行先の日付をもとに経過日数を表示します。
- ●出発日前はオレンジ色で「－○日目」と表示されます。（出発日までは記録されません）
- ●トラベル日付が白色で「－1日目」と表示される場合は、「ホーム」と「旅行先」との間に、日付をまたぐ時差があります。（記録されます）
- ●経過日数や旅行先をプリントするときは、「文字焼き込み」を行うか、CD-ROM（付属）のソフトフェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってプリントしてください。
- ●動画撮影の際、トラベル日付は記録されますが、「旅行先」は記録できません。

旅行先で便利な機能（つづき）

撮影モード：iA※ 📷 MS SCN 🎞　※記録のみ（設定不可）

「🌐 ワールドタイム」海外旅行先の日時を設定する

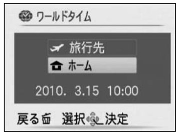
操作： • 時計の設定が必要です(P.17)

• **[MENU/SET]を押す→「🔧セットアップメニュー」→「ワールドタイム」を選ぶ**

お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順 2 へ。

■ホーム（お住まいの地域）を設定する

1 「ホーム」を選び、決定する



2 ホーム(お住まいの地域)を設定し、決定する

現在時刻

• 中止するとき→ 🗑 を押す

GMT（グリニッジ標準時）との時差

都市・地域名

この後、お買い上げ時(または「リセット」時)のみ、手順 1 の画面が表示されます。このとき、メニューを終了するには、[MENU/SET]を3 回押してください。

3 メニューを終了する

押す

■旅行先を設定する

1 「旅行先」を選び、決定する

2 都市・地域(エリア)を設定し、決定する

選んだエリアの現在時刻

• 中止するとき→ 🗑 を押す

ホームとの時差

都市・地域名(エリア)

旅行先の地域が表示されない場合“ホームとの時差”を参考に選んでください。

3 メニューを終了する

押す

■旅行から戻ったとき ➡ 左上の手順 1、2、3 を行い、時計をホームに戻す

■サマータイム ☼⊙ を設定／解除するとき

手順 2 で▲を押す。(再度押すと解除)

● 「旅行先」でサマータイムを設定すると、現在時刻が1時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。「ホーム」でサマータイムを設定しても、現在時刻は進みません。「時計設定」（P.17)で1時間進めてください。

● 旅行先を設定して撮影した写真や動画は、再生時に ✈(旅行先)が表示されます。

撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法は、18ページをお読みください。

（網かけ）は、お買い上げ時の設定です。

よく使うメニューは、「クイックメニュー」（P.20)が便利です。

「▦ 記録画素数」画素数を設定する

画像(粒子)のきめ細かさを設定します。この設定で撮影できる枚数が決まります。

■モード：iA 📷 MS SCN

■設定

記録画素数の種類		
4:3	12 M	4000×3000
4:3	8M EZ※1	3264×2448
4:3	5M EZ	2560×1920
4:3	3M EZ※1	2048×1536
4:3	0.3M EZ	640×480
3:2	10.5 M	4000×2672
16:9	9 M	4000×2248

記録可能枚数について(P.98)

※1 iA（インテリジェントオートモード)時は設定できません。

● 4:3 3:2 16:9 は、写真の横縦比を表します。

● EZ の付いた画素数を選ぶと、EX光学ズームが使えます。

● 動画撮影、ズームマクロ、シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「フォトフレーム」では、EX光学ズームは使えません。

● 被写体や撮影状況によっては、画像がモザイク状になることがあります。

設定の目安

画素数が大きい	←→	画素数が小さい※2
きめ細かい		粗い
撮影枚数が少ない		撮影枚数が多い

※2 例えば、「0.3 M EZ」は、データ容量が小さいので、Eメールでの送付などに便利です。

応用・撮影

「ISO ISO感度」光に対する感度を設定する

ISO感度(光に対する感度)を自分で設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをおすすめします。

■モード：📷

■設定：iISO（インテリジェントISO）／80／100／200／400／800／1600

設定の目安

ISO感度	80 ⟷ 1600	
適した撮影場所	明るい(屋外)	暗い
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える

- 「iISO」は、被写体の動きと明るさに応じて、最高1600までの範囲で自動設定します。
- フラッシュで撮影できる範囲について(P.40)
- ノイズが気になるときは、設定を低くするか、「カラーモード」を「ナチュラル」にすることをおすすめします。

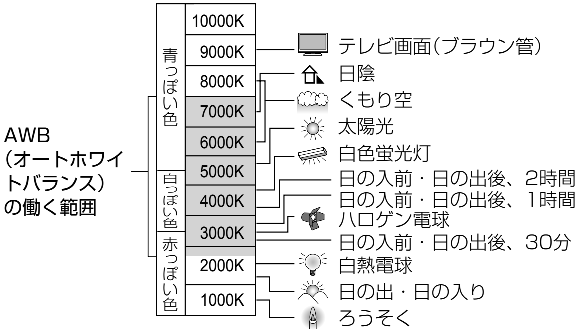
「WB ホワイトバランス」色合いを設定する

色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■モード：📷 MS SCN 🎞

■設定：AWB（自動調整、通常推奨）／☀(晴天の屋外）／☁(曇りの屋外）／⌂(屋外晴天下の日陰）／💡(白熱灯）／▲(▲SET で設定した値を使用）／▲SET(AWB、☀、☁、⌂、💡では合わないときに手動設定）

AWBが働く範囲について



- 範囲外では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、範囲内にあっても、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。
- 蛍光灯のときは「AWB」または「▲SET」に設定することをおすすめします。

■手動で設定するとき(▲SET)

撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

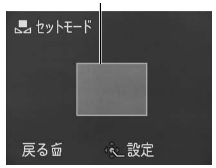
①▲SET を選び、[MENU/SET]を押す。

②紙など白いものを写し、[MENU/SET]を押す。

③[MENU/SET]を押す。

- ホワイトバランスが ▲ に設定されます。
- 電源をOFFにしても、設定したホワイトバランスは記憶されます。
- 被写体が明るすぎたり、暗すぎると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、再度設定し直してください。

枠内に白いものだけ映す(手順②)

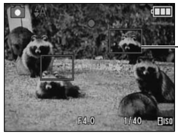
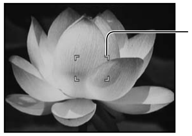


「[AFアイコン] オートフォーカスモード」ピントを合わせる方法を変える

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを変えられます。

■モード：[カメラアイコン] MS SCN

■設定：[顔認識アイコン]（顔認識）／[9点アイコン]（9 点）／[1点アイコン]（1 点）

人物を正面から撮るとき [顔認識アイコン]（顔認識）	顔を認識して（最大 15 人）顔に露出やピントが合います。 AFエリア 黄色：[シャッター]を半押しし、ピントが合うと緑色に変わる 白色：複数の顔を認識すると表示。黄色のAFエリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。
被写体が中央にないとき （ピントが合うまでAFエリアは表示されません） [9点アイコン]（9 点）	9 点のどれかにピントが合います。  AFエリア
ピントを合わせる位置が決まっているとき [1点アイコン]（1 点）	画面中央のAFエリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにおすすめ）  AFエリア

●デジタルズーム使用時やズームマクロ設定時、暗い場所では、大きなAFエリアが表示されます。

●次のときは「顔認識」に設定できません。
シーンモードの「夜景」「料理」「星空」「花火」「空撮」

●「顔認識」設定時に、カメラが誤って人物以外を顔と認識したときは、「顔認識」以外の設定に変えてください。

●次のときは状況によって顔を認識できない場合があります。（[9点アイコン]（9 点）に切り換わります。）

- 顔が正面を向いていない、傾いている
- サングラスなどで顔が隠れている
- 顔の陰影が少ない
- 顔の光が極端に明るい、または暗い
- 遠いところにいる
- 動きが速い
- 手ブレしている
- ペットなど人物以外
- デジタルズーム使用時

「[連写アイコン] 連写」連写で撮る

[シャッター]を全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

■モード：[iAアイコン] [カメラアイコン] MS SCN

■設定：OFF／[連写アイコン]

●連写速度は、約1.8 枚/秒です。カードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで連写できますが、途中から連写速度が遅くなります。（遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数により異なる）

●ピントは1 枚目で固定されます。露出とホワイトバランスは、1枚ごとに調整します。

●セルフタイマー使用時は3 枚に固定されます。

●ISO 感度が高い場合、または暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。

●連写を設定するとフラッシュは発光禁止になります。

●内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。

●電源を切っても、設定は記憶されます。

●明暗差の大きい場所で動きのある被写体を追いながら連写した場合、最適な露出にならないことがあります。

●「オートレビュー」の設定にかかわらず、1 枚撮るごとに撮影した写真が表示されます。

●シーンモードの「変身」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「サンドブラスト」「フォトフレーム」では連写は設定できません。

●シーンモードの「高速連写」を使うと、より速い連写で撮ることができます。また、「フラッシュ連写」を使うと、暗い場所でもフラッシュを使って連続撮影できます。

「[デジタルズームアイコン] デジタルズーム」さらに拡大する

光学ズーム、またはEX光学ズームの最大 4 倍に拡大します。（詳しくはP.34へ）

■モード：[カメラアイコン] MS SCN

■設定：OFF／ON

●ズームマクロ設定時は「ON」に固定されます。

●動画撮影モードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

撮影メニューを使う（つづき）

撮影メニューの設定方法は、18ページへ

「カラーモード」色の効果をつける

■モード：iA 📷 🎞

■設定：標準／ナチュラル(柔らかく）／ヴィヴィッド(くっきり）／白黒／セピア／クール(青っぽく）／ウォーム(赤っぽく）

●暗い場所でノイズが目立つときは「ナチュラル」に設定してください。
●iA (インテリジェントオートモード)では「標準」「白黒」「セピア」のみ設定できます。

「手ブレ補正」手ブレをおさえる

手ブレを自動で感知して補正します。

■モード：📷 MS SCN

■設定

設定内容		効果
OFF	OFF	ブレを補正しない。
AUTO	AUTO	撮影状況に応じて自動的に最適な手ブレ補正をします。
1	MODE1	常に補正する。モニター画像が安定します。
2	MODE2	[シャッター]を押す瞬間のみ補正する。より手ブレが少なく撮れます。

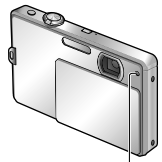
●シーンモード「自分撮り」では「MODE2」、「星空」では「OFF」に固定されます。
●次のときは補正が効きにくい場合があります。
手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき(デジタルズーム領域を含む)、被写体の動きが速いとき、室内や薄暗い場所で撮る(シャッタースピードが遅い)とき
●動画撮影中は「MODE1」に固定されます。

「AF AF補助光」暗いところでピントを合わせやすくする

■モード：📷 MS SCN

■設定：OFF：ランプ消灯(暗やみで動物などを撮るときなど)
ON：[シャッター]半押しでランプが点灯
(AFと、大きなAFエリアが表示される)

●動画撮影モードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。



AF補助光ランプ（有効距離：1.5 m）
(近くで見たり、指でふさがない)

「デジタル赤目補正」フラッシュの赤目現象を補正する

フラッシュの赤目軽減(⚡A◎ ⚡◎ ⚡S◎)で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

■撮影モード：📷 MS SCN

■設定：OFF／ON

●オートフォーカスモードが 顔 (顔認識)以外のときは、働きません。
●赤目の状態によっては、補正できない場合があります。
●「ON」に設定すると、フラッシュのアイコンに ✓ が付きます。(P.39)

「時計設定」時計を合わせる

時計を設定します。セットアップメニューの「時計設定」と同じ機能です。(P.17)

応用・撮影

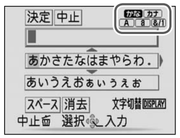
文字を入力する

シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前や、「トラベル日付」の旅行先を登録するときは、カーソルボタンを使って文字を入力します。

1 (各メニューの設定画面より)
文字の種類を選ぶ

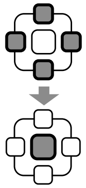
DISPLAY

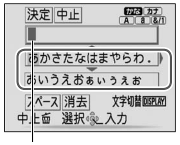
押すごとに切り換わる



[かな]：ひらがな
[カナ]：カタカナ
[A] [a]：アルファベット大文字/小文字
[&/1]：記号/数字

2 **文字を選び、決定する**(くり返す)

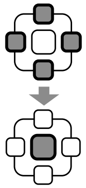


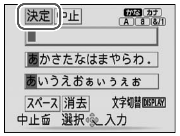


カーソル位置

カーソル位置に文字が入力されます。
• 日本語入力の場合は、まず上段で「あかさたな」行を選び、下段で文字を選びます

3 **入力が終わったら、「決定」を選び、決定する**





■文字を修正するとき
①▲▼◀▶で修正する文字にカーソルを移動する
• ズームレバーでもカーソル位置を移動できます。
②▲▼◀▶で「消去」を選び、[MENU/SET]を押す
③▲▼◀▶で正しい文字を選び、[MENU/SET]を押す

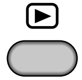
●入力できる文字数（＼、「、」、・、ー、歳、カ、月、日は2文字として扱います）
[かな] [カナ]：最大１５文字
[A] [a] [&/1]：最大３０文字
●入力位置のカーソルは、ズームレバーで移動できます。
●⏏を押すと、メニュー画面に戻ります。
●登録文字数が多い場合は、文字はスクロールで表示されます。
●設定した文字を印刷するには、「文字焼き込み」するか(P.71)、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って印刷してください。

画像を **一覧で見る** (マルチ再生／カレンダー再生)

再生モード：▶

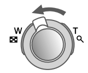
一度に12 画面(または30 画面)で表示(マルチ再生)したり、撮影日ごとにまとめて表示(カレンダー再生)したりできます。

1 **再生ボタンを押す**



• ◀▶で画像を選べます。

2 **一覧で表示する**



W側に回すたびに変わる

撮影日　選択画像番号

合計枚数
スクロールバー
画像の種類
• お気に入り[★]
• 動画：🎞
• 赤ちゃん[ ]
• ペット[ ]
• トラベル日付[ ]
• ワールドタイム[✈]
• 文字焼き込み済み[ ]

(12 画面)

(30 画面)

選択日(その日の最初の画像)

(カレンダー画面)

• ▲▼で週を、◀▶で日を選んで[MENU/SET]を押すと、その日の画像が12 画面で表示されます。

■1つ前の画面表示に戻すとき
➡ T側に回す

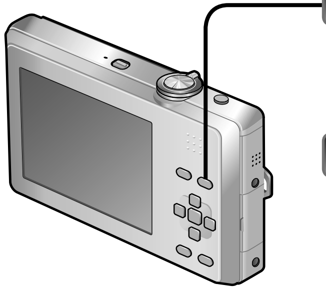
■12 画面/30 画面表示から1 画面表示にするとき
➡ ▲▼◀▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

●カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2010年1月1日に表示されます。
●「回転表示」はできません。
●「！」と表示される画像は再生できません。
●「ワールドタイム」で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

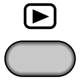
動画を見る

再生モード：▶

写真と同じように動画も再生できます。

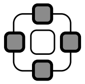


1 再生ボタンを押す



2 画像を選び、再生する

■動画再生中の操作



▲：一時停止／再生
▼：終了
◀：早戻し（2段階）
（一時停止中）コマ戻し
▶：早送り（2段階）
（一時停止中）コマ送り

- 早戻し/早送り中に▲を押すと、通常の再生速度になります。
- 音量はズームレバーで調整できます。

■消去するとき

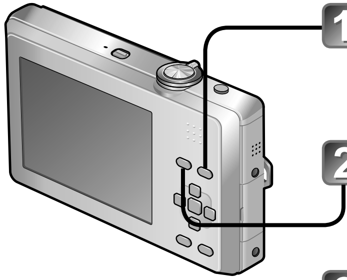
➡（P.36）

●他機で撮影した動画は、正しく再生できないことがあります。
●大容量のカードを使用時、早戻しが遅くなる場合があります。
●パソコンで見る場合は、CD-ROM（付属）の「QuickTime（クイックタイム）」で再生できます。

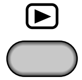
いろいろな再生方法「再生モード」

再生モード：▶

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。



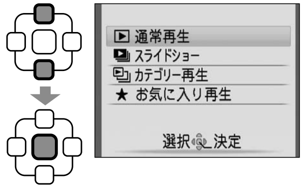
1 再生ボタンを押す



2 再生モード選択画面を表示する

MODE

3 再生方法を選び、決定する



■通常再生

➡（P.35）

■スライドショー

➡（P.68）

■カテゴリー再生

➡（P.70）

■お気に入り再生

➡（P.70）

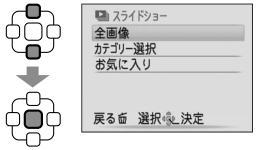
●カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像を再生します。
●再生モードに切り換えたときは、再生モードは自動的に「通常再生」になります。
●「お気に入り再生」は、「お気に入り」に設定している画像があり、設定を「ON」にしているときのみ表示されます。

再生モードの切換方法は、67ページへ

「スライドショー」自動で順番に見る

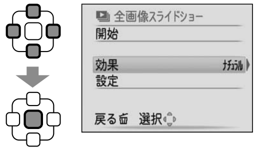
音楽に合わせて写真を順に自動再生します。テレビで見るときにおすすめです。

1 再生方法を選び、決定する



- 「全画像」：すべての写真を再生。
- 「カテゴリー選択」：カテゴリーを選択して再生。（▲▼◀▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください）（P.70）
- 「お気に入り」：「お気に入り」に設定した画像のみ再生。（「お気に入り」に設定している画像があり、設定を「ON」にしているときのみ表示されます）

2 再生効果を設定し、決定する



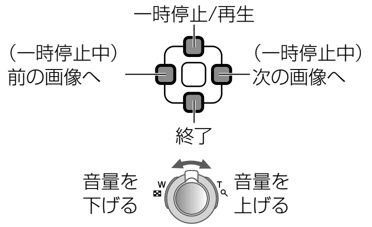
効果（画像の雰囲気にあった音楽と効果を選ぶ）	
おまかせ	ナチュラル、スロー、スウィング、アーバンから最適なものをカメラが選択（「カテゴリー選択」設定時のみ）
ナチュラル	落ちついた音楽と画面切り換え効果で演出
スロー	
スウィング	アクティブな音楽と画面切り換え効果で演出
アーバン	
OFF	演出しない

設定	
再生間隔	1 秒/2 秒/ 3 秒/ 5 秒（効果「OFF」設定時のみ設定可能）
リピート	OFF/ON（リピートする）
音楽	ON： 効果に合わせた音楽が再生されます。 OFF：音楽は再生されません。

3 ▲で「開始」を選び、[MENU/SET]で決定する

- 再生中に 🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

■スライドショー中の操作



- 「アーバン」は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- 縦向きに撮影した画像を表示するとき、一部の「効果」が動作しません。
- 音楽効果を追加することはできません。
- スライドショーでは動画再生できません。カテゴリーの「動画」を選択したときは、動画の最初の画面が写真としてスライドショーされます。
- 横縦比の異なる画像は、端をカットして全画面で表示されます。

いろいろな再生方法「再生モード」（つづき）

再生モード：▶

「カテゴリー再生」自動で分類する

画像を自動で分類し、そのカテゴリーごとに見ることができます。再生モード選択メニューで「カテゴリー再生」を選ぶと、自動で分類が始まります。

1 カテゴリーを選び、決定する

画像があるカテゴリーのアイコン（濃い青）

その枚数表示（表示に数秒必要）

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
	人物、i人物、美肌、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん
	風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮
	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空
	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
	赤ちゃん
	ペット
	料理
	トラベル日付
	動画

2 画像を見る

前へ　次へ

- 画像を消去するとき→ 🗑（消去）を押す

●カレンダー画面表示はできません。
●「カテゴリー再生」では次の再生メニューのみ使用できます。
「回転表示」「プリント設定」「プロテクト」
●「カテゴリー再生」を終了する場合は、「通常再生」に設定してください。

「★ お気に入り再生」お気に入り画像だけ見る

「お気に入り」で設定した画像を手動で再生します。（「お気に入り」に設定している画像があり、設定を「ON」にしているときのみ表示されます）

1 画像を見る

前へ　次へ

●カレンダー画面表示はできません。
●「お気に入り再生」では次の再生メニューのみ使用できます。
「回転表示」「プリント設定」「プロテクト」
●「お気に入り再生」を終了する場合は、「通常再生」に設定してください。

再生メニューを使う

再生モード：▶

再生メニューの設定方法は、18ページをお読みください。

「CAL カレンダー検索」撮影日別に見る

カレンダー画面で撮影日を選んで、その日に撮った画像だけを見ることができます。(P.65)
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「CAL カレンダー検索」を選ぶ
●再生モードが「通常再生」のときのみ設定できます。

「文字焼き込み」文字や日付などを焼き込む

撮影日時、シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」、「トラベル日付」で登録した文字を写真に焼き込みます。Lサイズのプリントに適しています。
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「文字焼き込み」を選ぶ

1 ▲▼で「1 枚設定」か「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 写真を選び、決定する

● 1 枚のとき

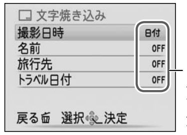
● 複数のとき（50 枚まで）

DISPLAY

文字焼き込み設定

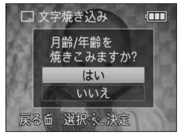
- 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
- 実行するとき→[MENU/SET]を押す

3 項目を選んで設定し、決定する



「OFF」の項目は焼き込みません

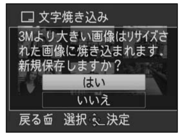
4 月齢/年齢を焼き込むかどうか選び、決定する



手順 3 で「名前」が「OFF」の場合、この画面は表示されません。

5 「はい」を選び、決定する

（画面は画素数などによって変わります）



- 1 枚設定時は、手順 5 の後に 🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。
- 記録画素数が3 M以上の場合、記録画素数が小さくなり画質が少し粗くなります。

画像横縦比	焼き込み後
4：3	3 M
3：2	2.5 M
16：9	2 M

■焼き込める項目

撮影日時	「日付」：撮影日を焼き込む 「日時」：撮影日時を焼き込む
名前	「赤ちゃん」「ペット」で登録された名前を焼き込む
旅行先	「トラベル日付」で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	「トラベル日付」で設定された旅行日を焼き込む

• 「OFF」にすると、その項目は焼き込みません。

■焼き込んだ文字を確認するとき ➡ 「再生ズーム」（P.35）

●他機で撮影したもの、時計を設定せずに撮影したもの、動画には設定できません。
●文字を焼き込んだ写真は、「リサイズ（縮小）」「トリミング（切抜き）」、文字の再焼き込み、「プリント設定」の日付プリント設定ができません。
●プリンターによっては文字が切れることがあります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」のときは設定できません。
●**文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）**

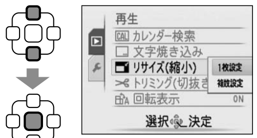
「リサイズ（縮小）」画像サイズ（画素数）を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量（記録画素数）を小さくします。（一番小さい記録画素数で撮影した写真は、それ以上小さくできません）

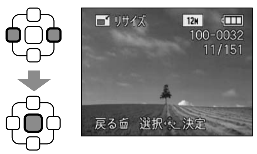
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「リサイズ（縮小）」を選ぶ

■1 枚設定

1 「1 枚設定」を選び、決定する



2 写真を選び、決定する



3 サイズを選び、決定する

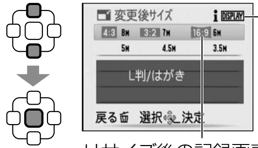
4 「はい」を選び、決定する

• 決定後、🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

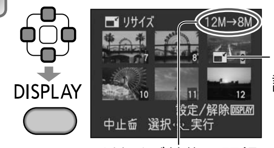
■複数設定

1 前ページの手順 1 で▼で「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 サイズを選び、決定する



3 写真を選び、決定する（50 枚まで）



• 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

4 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

●リサイズすると画質が粗くなります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」のときは設定できません。
●動画、文字焼き込み済みの写真はできません。また、他機で撮影した写真はできない場合があります。

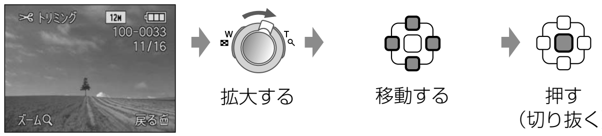
「トリミング（切抜き）」画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

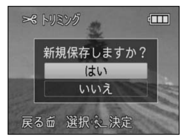
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「トリミング（切抜き）」を選ぶ

1 ◀▶で写真を選び、[MENU/SET]で決定する

2 写真を切り抜く部分を表示して、決定する



3 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する



• 決定後、🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

●トリミングすると画質が粗くなります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」のときは設定できません。
●動画、文字焼き込み済みの写真はできません。また、他機で撮影した写真には、できない場合があります。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

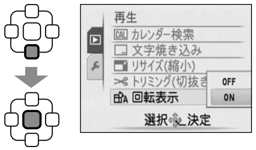
再生メニューの設定方法は、18ページへ

「回転表示」画像を自動で回転して表示する

縦向きに撮った写真を自動的に回転して表示します。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「回転表示」を選ぶ

1 「ON」を選び、決定する



回転表示「ON」

回転表示「OFF」

- ●動画は、回転表示できません。
- ●レンズの付いた面を上や下に向けて撮影した写真や、他機で撮影した写真は、回転されない場合があります。また、本機を上下逆さまにして撮影したものは、自動で回転表示されません。
- ●マルチ再生時およびカレンダー検索時は回転して表示されません。
- ●パソコンではExif（P.35）に対応した環境（OS、ソフトウェア）でのみ、回転して表示されます。

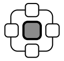
「★ お気に入り」お気に入り画像を設定する

気に入った画像に★印をつけておくと、お気に入り画像だけで「スライドショー」や「お気に入り再生」をしたり、お気に入り画像以外を全消去（P.36）したりすることができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「★ お気に入り」を選ぶ

1 「ON」を選び、決定する

2 メニューを終了する



押す

3 （再生画面で）
画像を選び、設定する（くり返す）

設定すると表示
（「OFF」のときは表示されません）

- 999 枚まで設定できます。
- 解除するとき→再度▼を押す

■すべて解除するとき ➡ 手順 **1** で、「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する

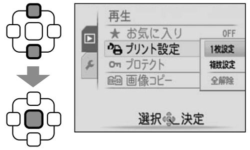
- ●再生モードが「お気に入り再生」のときは設定できません。
- ●他機で撮影した画像には設定できない場合があります。
- ●CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」でも、設定・解除ができます。

「プリント設定」プリント設定する

DPOFプリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。（対応しているかどうかはお店に確認してください）

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「プリント設定」を選ぶ

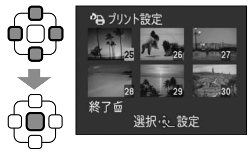
1 「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する



2 画像を選び、決定する

● 1 枚のとき

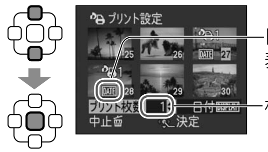
● 複数のとき



3 枚数を設定し、決定する（「複数設定」時は **2** と **3** をくり返す（999 枚まで））

● 1 枚のとき

● 複数のとき



- 日付プリントを設定／解除するとき→[DISPLAY]を押す
- 設定後、🗑を押すとメニュー画面に戻ります。

■すべて解除するとき ➡ 手順 **1** で、▼で「全解除」を選ぶ →「はい」を選び、決定する

- ● PictBridge対応プリンターでは、プリンター側のプリント設定が優先されることがあるため確認してください。
- ● 内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、まずカードにコピーしてから設定してください。（P.77）
- ● DCF規格（P.35）に準拠していないファイルには設定できません。
- ● 他機で設定されたDPOF情報（プリント設定）は利用することができない場合があります。その場合、DPOF情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
- ● 日付プリント設定は、「文字焼き込み」済みの画像には設定できません。また、日付プリント設定後に「文字焼き込み」を行うと、設定が解除されます。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：[▶]

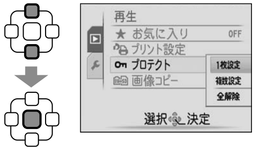
再生メニューの設定方法は、18ページへ

「On プロテクト」画像を保護する

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

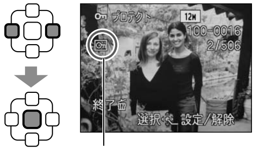
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「On プロテクト」を選ぶ

1 「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する



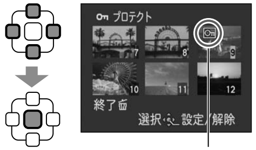
2 画像を選び、設定する

● 1 枚のとき



プロテクト設定

● 複数のとき



プロテクト設定

- 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す
- 決定後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。

■全解除するとき ➡ 手順 [1] で、▼で「全解除」を選ぶ →「はい」を選び、決定する

■全解除中に中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

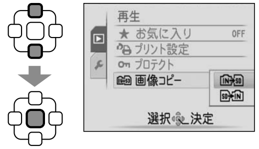
●本機以外では無効になることがあります。
●プロテクトしてもフォーマットすると消去されます。
●カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、プロテクトをしなくても消去されません。

「[IN→SD] 画像コピー」内蔵メモリーの画像をコピーする

内蔵メモリーとカード間のコピーができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「[▶] 再生メニュー」→「[IN→SD] 画像コピー」を選ぶ

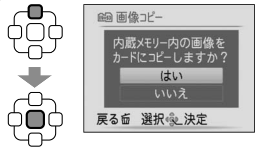
1 コピーのしかた（方向）を選び、決定する



[IN→SD]：内蔵メモリーからカードへ、全画像をコピー。（手順 [3] へ）
[SD→IN]：カードから内蔵メモリーへ、1 枚コピー。

2 「[SD→IN]」のときは、◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する

3 「はい」を選び、決定する



- 中止するとき→[MENU/SET]を押す
- 決定後、[削除] を押すとメニュー画面に戻ります。

（画面は一例）

●内蔵メモリーの容量が不足してコピーできないときは、電源を切ってカードを抜いてから、内蔵メモリーの画像を消去してください。
●内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー（約40 MB）より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
●コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
●コピー先に同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）がある場合、「[IN→SD]」（内蔵メモリーからカード）時は新しいフォルダーを作成してコピーします。「[SD→IN]」（カードから内蔵メモリー）時はその画像はコピーされません。
●次の設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- お気に入り設定　• プリント設定　• プロテクト設定

●当社製デジタルカメラ（LUMIX）の画像のみコピーできます。
●コピーしてもコピー元の画像は消去されません。（画像を消去するとき→P.36）
●再生モードが「通常再生」のときのみ設定できます。

応用・再生

パソコンに接続する

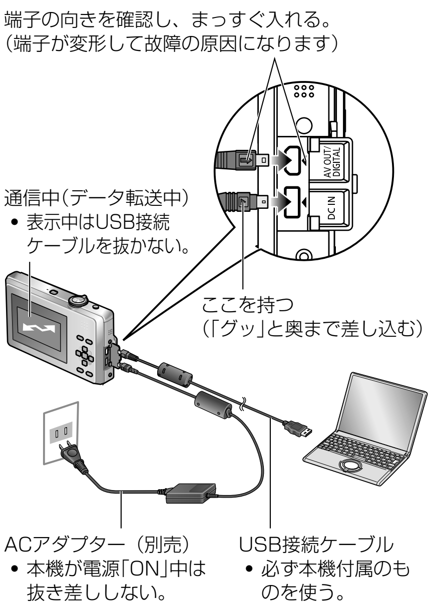
お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。
詳しくはパソコンの説明書をお読みください。

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。（撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください）
  カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM（付属）のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続編取扱説明書」**および**「付属ソフトウェアについてのお知らせ」**をお読みください。

準備：

- バッテリーを十分に充電しておく。または、ACアダプター（別売：DMW-AC5）を接続しておく。
- 内蔵メモリーの画像を取り込むときは、カードを抜いておく。



1 本機とパソコンの **電源を入れる**

2 本機とパソコンを **接続する**

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

3 本機で **「PC」を選び、決定する**

「USBモード」（P.24）が「PictBridge（PTP）」に設定されているとメッセージが表示される場合があります。「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、「USBモード」を「PC」に設定してください。

4 パソコンを **操作する**

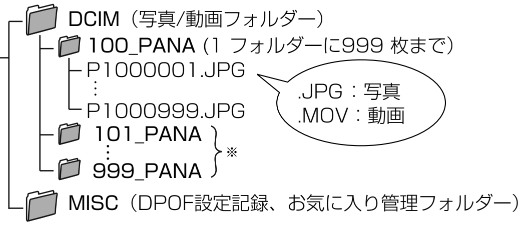
■接続を解除するとき ➡ パソコンでタスクトレイの**「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」**を実行する→USB接続ケーブルを抜く→本機の電源を切る→ACアダプターを抜く

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

■フォルダーの構造と名前

●Windows のとき
「マイコンピュータ」または「コンピュータ」フォルダーにドライブを表示

●Macintosh のとき
「LUMIX」「NO NAME」
「名称未設定」
（デスクトップ上）



※ フォルダーは次のときに新しく作成されます。
フォルダー内のファイル数が999 枚を超えたとき、同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）。

- ファイル名を変えると、本機では再生できなくなることがあります。

■WindowsXP、Windows Vista、Windows 7、Mac OS Xをお使いの場合
「USBモード」の設定を「PictBridge(PTP)」にしても、パソコンとPTPモードで接続することもできます。

- 本機からは、画像の読み出しのみできます。（Windows Vista、Windows 7は画像の消去も可能）
- カードの中に1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

■動画をパソコンで再生する方法
①CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」を使います。
- Macintosh では標準搭載。

②パソコンに動画を保存して再生してください。

●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●通信中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください。（バッテリーを充電してから再度接続してください）
●「USBモード」を「PC」に設定しておくと、パソコンに接続するたびに設定する必要がありません。
●パソコンの説明書をお読みください。
●付属CD-ROMのソフトウェアについて、詳しくは別冊の「パソコン接続編取扱説明書」および「付属ソフトについてのお知らせ」をお読みください。

PictBridge（ピクトブリッジ）でプリントする

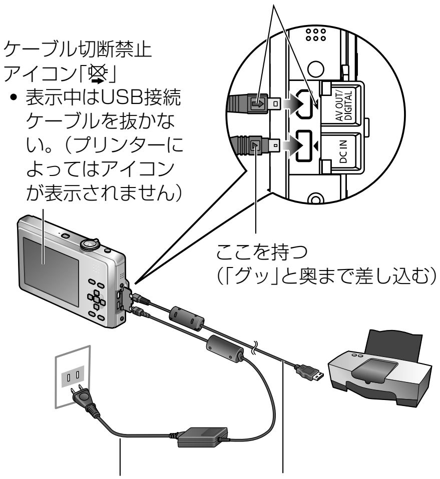
お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの説明書をお読みください。

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。または、ACアダプター（別売：DMW-AC5)を接続しておく。
- 内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。

端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
（端子が変形して故障の原因になります）

ケーブル切断禁止アイコン「⚠」
- 表示中はUSB接続ケーブルを抜かない。（プリンターによってはアイコンが表示されません）



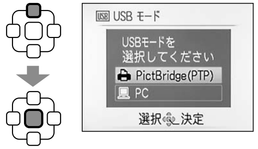
ACアダプター（別売）
- 本機が電源「ON」中は抜き差ししない。

USB接続ケーブル
- 必ず本機付属のものを使う。

1 本機とプリンターの
電源を入れる

2 本機とプリンターを **接続する**
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

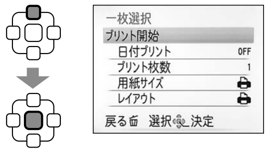
3 カメラで「PictBridge(PTP)」を選び、決定する



「PCとの接続を確認しています」と表示された場合は、接続を解除し、「USBモード」を「接続時に選択」または「PictBridge(PTP)」に設定してください。

4 ◀▶でプリントする画像を選び、[MENU/SET]で決定する

5 「プリント開始」を選び、決定する



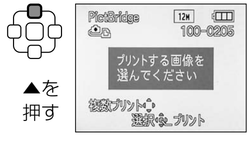
（プリントの各種設定：P.82）

■途中でプリントを中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

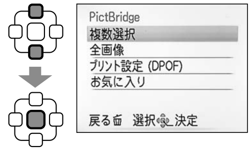
●プリント終了後、USB接続ケーブルを外してください。
●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB接続ケーブルを抜いてください。（バッテリーを充電してから再度接続してください）
●「USBモード」を「PictBridge (PTP)」に設定しておくと、プリンターに接続するたびに設定する必要がありません。

「複数プリント」複数まとめてプリントするとき

① 前ページの手順 4 で複数プリントに設定する



② 項目を選び、決定する（下記）



③ プリントする（前ページ 5 ）

- 複数選択　：①▲▼◀▶で画像を選び、[DISPLAY]で決定する（解除するとき→再度[DISPLAY]を押す）
  ②[MENU/SET]で決定する
- 全画像　：すべての画像
- プリント設定(DPOF)：「プリント設定」で設定した画像
- お気に入り：「お気に入り」で設定した画像（「お気に入り」画像があり、「ON」に設定時のみ表示）

●プリント確認画面が表示された場合は、「はい」を選んでください。
●プリント中にオレンジ色の「●」が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
●プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。（残り枚数の表示が設定と異なることがあります）

写真に日付や文字を入れる

■「文字焼き込み」するとき
以下の文字情報を写真に焼き込むことができます。
●撮影日時　●シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前や月齢/年齢
●「トラベル日付」の経過日数と旅行先
- 文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）

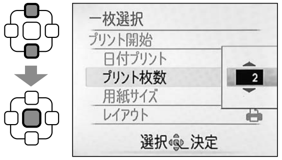
■「文字焼き込み」せずに日付などをプリントするとき
● お店プリントの場合：撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。
  - お店にカードを渡す前に、本機で「プリント設定」をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定しておくことができます。
  - 16:9の写真をプリントする場合は、お店が16:9サイズに対応しているか事前に確認してください。
● パソコンの場合　：CD-ROM（付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。
● プリンターの場合：本機で「プリント設定」をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で「日付プリント」（次ページ)を「ON」に設定すると、撮影日時を印刷できます。

本機でプリントの各種設定をする

（「プリント開始」を選ぶ前に設定してください）

① 設定項目を選ぶ

② 設定内容を選ぶ



設定項目	設定内容
日付プリント	OFF/ON(日付プリントする)
プリント枚数	枚数を設定(最大 999 枚)
用紙サイズ	(プリンターの設定を優先) L/3.5"×5"（89×127 mm） 2L/5"×7"（127×178 mm） はがき（100×148 mm） 16:9（101.6×180.6 mm） A4（210×297 mm） A3（297×420 mm） 10×15 cm（100×150 mm） 4"×6"（101.6×152.4 mm） 8"×10"（203.2×254 mm） レター（216×279.4 mm） カード（54×85.6 mm）
レイアウト	(プリンターの設定を優先) ／ (1 面ふちなし) ／ (1 面ふちあり) ／ (2 面) ／ (4 面)

●プリンターが対応していない項目は表示されません。
●「2 面」「4 面」で同じ写真を並べたいときは、その写真のプリント枚数を2 枚/4 枚にしてください。
●本機が対応していない、用紙サイズやレイアウトでプリントするには (プリンター優先)を選び、プリンター側で設定してください。（プリンターの説明書をお読みください）
●「プリント設定」設定時は「日付プリント」と「プリント枚数」の項目は表示されません。
●「プリント設定」をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。
●「日付プリント」を「ON」にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。（プリンター側の設定が優先される場合があります）

テレビで見る

本機とテレビをAVケーブル(付属)で接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。
●テレビの説明書もお読みください。

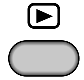
準備：
- 「TV画面タイプ」を設定する。
- 本機とテレビの電源を切る。

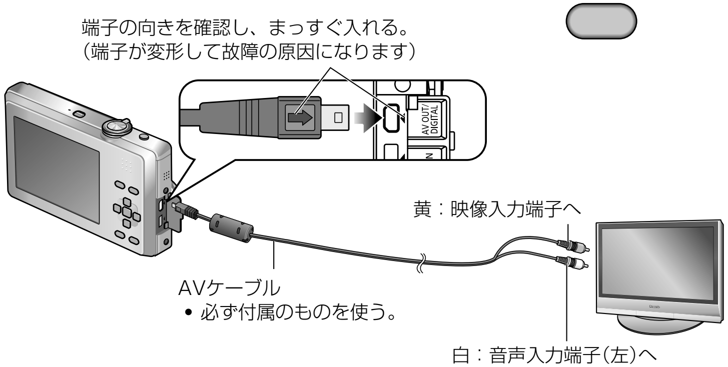
1 本機とテレビを **接続する**

2 テレビの **電源を入れ、「外部入力」にする**

3 本機の **電源を入れる**

4 **再生ボタンを押す**





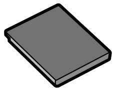
■テレビにSD カードスロットがあるとき

➡ SD カードスロットにSD メモリーカードを入れてください
- 写真のみ再生できます。
- SDHC メモリーカードおよびSDXCメモリーカードをお使いの場合は、それぞれ対応の機器で再生してください。

●テレビに出力できるのは、再生モード時のみです。
●「液晶モード」の設定はテレビには反映されません。
●テレビの特性上、画像の端が多少切れて表示されたり、全画面で表示されないことがあります。また、縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
●ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。

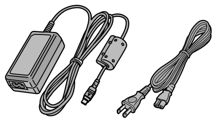
別売品のご紹介

品名：バッテリーパック
品番：DMW-BCH7

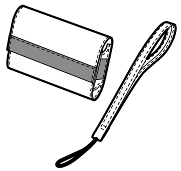


- 付属のバッテリーパックと同じ性能です。
- 旅行などの予備としてもおすすめします。

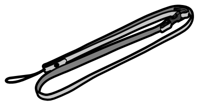
品名：ACアダプター
品番：DMW-AC5



品名：ソフトケース
品番：DMW-CP8



品名：ショルダーストラップ
品番：DMW-SSTX1



品名：SD メモリーカード
　　　SDHC メモリーカード
　　　SDXC メモリーカード

- 最新情報は、以下のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

●記載の品番は2010年1月現在のものです。
変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
PanaSense

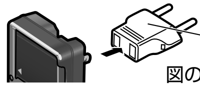
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。
●電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
●市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。
ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■変換プラグの付けかたについて

- ご使用にならないときは変換プラグを電源コンセントから外してください。



■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ
北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C, SE	オランダ	C, SE	ギリシャ	A, B, B3, C, SE	スイス	A, B, C, SE
スウェーデン	B, C, SE	スペイン	A, C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A, C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B, C	フランス	A, C, SE	ベルギー	B, C, SE	ロシア	A, C, SE				
アジア											
インド	B, BF, B3, C	インドネシア	B, B3, C, SE	シンガポール	B, BF, B3	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, C, SE	台湾	A, C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A, O	ベトナム	A, BF, C, SE	香港特別行政区	B, BF, B3, C	マカオ特別行政区	B, BF, B3, C	マレーシア	B, BF, B3, C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A, B, C, O
中南米											
アルゼンチン	BF, C, SE	プエルトリコ	A, BF, C	ブラジル	A, C, SE	メキシコ	A, C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B, BF, B3	エジプト	BF,B3, C, SE	クウェート	B, B3, C	トルコ	A, B, C, SE	南アフリカ共和国	B, BF, B3, C	モロッコ	A, C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K.タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
変換プラグ	不要です						

■海外のテレビで画像を見る

セットアップメニューの「ビデオ出力」で「NTSC」または「PAL」に設定してください。

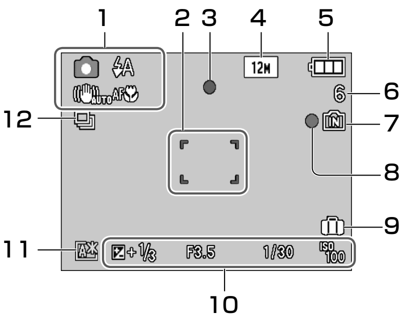
■時計を海外旅行先の時刻に合わせるとき

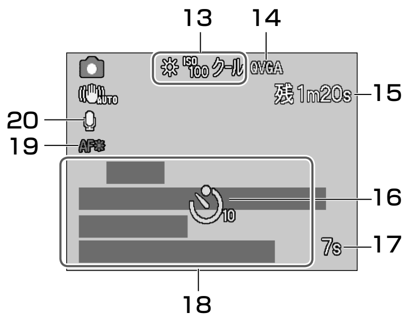
セットアップメニューの「ワールドタイム」で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示一覧

[DISPLAY]を押すと表示が切り換わります。(P.12、37)

撮影時



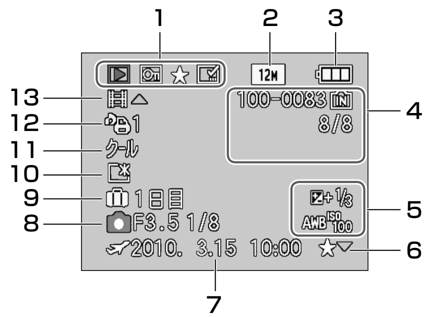


1 撮影モード(P.27)
フラッシュモード(P.39)
手ブレ補正(P.62)
手ブレ警告(P.31)
マクロ撮影(P.41)
2 AF エリア(P.31)
3 フォーカス(P.31)
4 記録画素数(P.57)
5 バッテリー残量(P.16)
6 記録可能枚数(P.98)
7 保存先(P.16)
8 記録動作
9 トラベル日付(P.55)
10 露出補正(P.43)
絞り値・シャッタースピード(P.31)
ISO感度(P.58)

フォーカス距離
ズーム(P.33)
ズームマクロ(P.42)
11 液晶モード(P.22)
12 連写(P.61)

13 ホワイトバランス(P.59)
ISO 感度(P.58)
カラーモード(P.62)
14 画質設定(P.54)
15 残り撮影可能時間(P.53)
16 セルフタイマーモード(P.38)
17 撮影経過時間(P.53)
18 トラベル経過日数(P.55)
名前(P.48)
旅行先(P.55)
月齢/ 年齢(P.48)
現在日時
19 AF 補助光(P.63)
20 音声録音(動画撮影時に表示)

再生時



1 再生モード(P.67)
プロテクト(P.76)
お気に入り表示(P.74)
文字焼き込み済み表示(P.71)
2 記録画素数(P.57)
3 バッテリー残量(P.16)
4 フォルダー・ファイル番号(P.35、79)
画像番号/ トータル枚数(P.35)
動画記録時間・再生経過時間(P.66)
保存先(P.16)
5 撮影情報
6 お気に入り設定(P.74)

7 撮影日時
旅行先(P.55)
名前(P.48)
8 撮影情報
月齢/年齢(P.48)
9 トラベル経過日数(P.55)
10 液晶モード(P.22)
11 カラーモード(P.62)
12 プリント設定枚数(P.75)
13 動画(P.66)
ケーブル切断禁止(P.80)

メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メッセージ	ここを確認してください
このメモリーカードは書込み禁止スイッチが「禁止」になっています	• カードの書き込み禁止スイッチを解除する。（P.16）
メモリーカードエラー・ フォーマットしますか？	• 本機では、使用できないフォーマットです。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P.25)する。
カードを入れ直してください／ 別のカードでお試しください	• カードへのアクセスに失敗しました。 →カードを入れ直す。 • miniSD カード、microSD カード、microSDHC カードをアダプターに入れずに本機に入れた。 →必ずアダプターに入れる。 • 別のカードを入れてお試しください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	• カードがSD 規格に準拠していません。 • 4 GB以上のメモリーカードは、SDHC メモリーカードおよびSDXCメモリーカードのみ使用できます。
リードエラー /ライトエラー カードを確認してください	• データの読み込みに失敗しました。 →カードが確実に入っているか確認する。（P.15） • データの書き込みに失敗しました。 →電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れる。 • カードが壊れている可能性があります。 • 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	• 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードをお使いください。 ※SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 • 「Class6」以上のカードを使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.25)することをおすすめします。 • カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	• 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードへの一括コピーの場合、カードの空き容量分の画像がコピーされます。
このカードは使用できません	• マルチメディアカードを入れた。 →本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。

■バッテリーについて

メッセージ	ここを確認してください
このバッテリーは使えません	• 純正バッテリー（DMW-BCH7)をお使いください。 • バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。 →端子部のごみなどを取り除いてください。
バッテリー残量が不足しています。	• バッテリー残量が不足しています。 →バッテリーを充電してからお使いください。（P.13）

■その他

メッセージ	ここを確認してください
表示できる画像がありません	• 撮影するか、画像を記録したカードを入れる。
この画像はプロテクトされています	• 「プロテクト」を解除してから消去などを行う。（P.76）
消去できない画像があります／ この画像は消去できません	• DCF規格(P.35)に準拠していない画像は消去できません。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。（P.25）
設定枚数をこえました	• 一度に複数消去できる枚数を超えています。 • お気に入り設定が999 枚を超えています。 • 一度に「文字焼き込み」「リサイズ(縮小)」（複数設定）できる枚数を超えています。
この画像には設定できません	• DCF規格に準拠していない画像は「プリント設定」、「文字焼き込み」できません。
電源を入れ直してください ／システムエラー	• レンズが正常に動作しませんでした。 →電源を入れ直す。 （それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください）
コピーできない画像がありました／画像をコピーすることができませんでした	• 次の場合はコピーできません。 →同名の画像がコピー先にある。（カードから内蔵メモリーへコピー時のみ） →DCF規格に準拠していないファイル。 →本機以外で撮影・編集された画像。
内蔵メモリーエラー・ フォーマットしますか？	• 内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 →本機でフォーマットし直す。データは消去されます。
フォルダーを作成できません	• フォルダー番号を999まで使っています。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットする。（P.25）
16:9TV 用で出力します／ 4:3TV 用で出力します	• 本機にAVケーブル(付属)が接続されました。 →メッセージをすぐに消す場合：[MENU/SET] を押す。 →画面表示の比率を変える場合：「TV画面タイプ」の設定を変える。（P.25） • USB接続ケーブル(付属)が本機のみに接続されました。 →ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず以下の方法をお試しください。それでも解決できない場合は、セットアップメニューの「設定リセット」を行うと症状が改善する場合があります。
（ただし、設定は「時計設定」など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります）

	こんなときは…	ここを確認してください
電源、バッテリー	電源を入れても動作しない。	• バッテリーが正しく入っていない。（P.15）または、消耗している。
	使用中に電源が切れる。	• バッテリーが消耗している。 • 「自動電源OFF」が働いている。（P.23） →電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。
	海外で充電したい。	• **地域によって、電源コンセントの形状が異なる。** **→その地域に合った変換プラグをご用意ください。（P.85）**
撮影	撮影できない。	• 再生モードになっている。 →再生ボタンを押して、撮影モードに切り換えてください。 • レンズカバーが閉まっている。 →レンズカバーを下げてください。 • 内蔵メモリーやカードの残量がない。 →不要な画像を消去してください。（P.36）
	カードで撮影できない。	• **他の機器でフォーマットした。** **→本機でフォーマットしてください。（P.25）** • **本機で使えるカードについては、16ページをお読みください。**
	撮影枚数が少ない。	• バッテリーが消耗している。 →満充電のバッテリーをお使いください。（お買い上げ時は充電されていません）（P.13） →電源を入れたまま放置するとバッテリーを消耗するため、「自動電源OFF」を使うなどしてこまめに電源を切ってください。（P.23） • 保存先ごとの撮影可能枚数はP.98をご参照ください。
	撮影した画像が白っぽい。	• レンズが汚れている。（指紋などの汚れがついている） →レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。 • つゆつきが起こっている。（P.10）
	撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。	• **暗い場所で撮影している。または、晴天の空や雪など明るい被写体が画面の大半を占めている。（液晶モニターと撮影した画像の明るさが異なる場合があります）** **→露出を補正してください。（P.43）**
	[シャッター]を1 回押すと、2 ～ 3 枚撮影される。	• 「連写」（P.61）、またはシーンモードの「高速連写」（P.49）「フラッシュ連写」（P.50）を使う設定にしている。
	ピントが合わない。	• 被写体までの距離に応じたモードになっていない。 （撮影モードによって撮影可能範囲が異なります） • 撮影可能範囲から外れている。 • 手ブレや被写体ブレしている。（P.58、62）

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影（つづき）	撮影した画像がブレる。 手ブレ補正が効かない。	• 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。 →デジタルズームを「OFF」に設定し、ISO感度を「ISO」に設定してください。（P.58）
	撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	• ISO感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。 （お買い上げ時はISO感度が「ISO」のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） →「ISO感度」を低くしてください。（P.58） →「カラーモード」を「ナチュラル」にしてください。（P.62） →明るい場所で撮影してください。 • シーンモードの「高感度」、「高速連写」にしている。 （高感度処理のため画質が少し粗くなります）
	画像の色合いが青っぽい、赤っぽい。	• **被写体を照らしている光の影響を受けている。** **→光源に合わせて、ホワイトバランスを変えてください。（P.59）**
	撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。	• 蛍光灯下で撮る場合、蛍光灯の特性によってシャッタースピードが速くなると明るさや色合いが多少変化する場合がありますが、異常ではありません。
	撮影時やシャッター半押し時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出たり、液晶モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。	• CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画では記録されますが、写真には記録されません。 • 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
	動画撮影が途中で止まる。	• カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。 • 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードをお使いください。 ※SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。 • 「Class6」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.25)することをおすすめします。

	こんなときは…	ここを確認してください
液晶モニター	動画撮影中、液晶モニターが暗くなる	• 長時間動画撮影を続けると、液晶モニターが暗くなることがあります。
	電源が入っているのに、ときどき消える。	• 撮影後、次の撮影ができるまで画面が消えます。 （内蔵メモリー使用時は最大約 6 秒間）
	明るさが不安定になる。	• [シャッター]を半押ししたときに絞り値を設定するためです。（撮影画像に影響はありません）
	室内でちらつく。	• 電源周波数が50 Hz の地域では、ちらつく場合があります。 （蛍光灯の影響を補正するため）
	明るすぎる、または暗すぎる。	• 「液晶モード」が働いている。（P.22）
	黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。	• 故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。
	日付や年齢表示が出ない。	• 撮影時は、現在日時、トラベル経過日数(P.55)、シーンモードの「赤ちゃん」や「ペット」（P.48)の月齢/年齢は、起動時や設定後、モード切換後などに約 5 秒間のみ表示されます。常時表示することはできません。

	こんなときは…	ここを確認してください
フラッシュ	発光しない。	• ⊘(発光禁止)に設定している。(P.39) • ⚡A(オート)のときは条件によって光らないことがあります。 • シーンモードの「風景」「夜景」「夕焼け」「高速連写」「花火」「星空」「空撮」、「連写」設定時は発光しません。 • 動画撮影時は発光しません。
	複数回発光する。	• 赤目軽減になっている。(P.39) （瞳が赤く写るのをおさえるため2 回発光します） • シーンモードの「フラッシュ連写」にしている。

	こんなときは…	ここを確認してください
再生	画像が勝手に回転して小さく表示される。	• 「回転表示」を「ON」にしている。 （縦に構えて撮影した画像を自動回転して表示します。 本機を上や下に向けて撮ると、縦に構えたと認識する場合があります） →「回転表示」を「OFF」にしてください。(P.74)
	再生できない。	• 再生ボタンを押してください。 • 内蔵メモリーまたはカードに画像がない。（カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します） • 「カテゴリー再生」「お気に入り再生」になっている。 →「通常再生」に設定してください。(P.67)
	フォルダー・ファイル番号が「ー」で表示される。 画像が黒く表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。 →消去するには：本機でフォーマットしてください。(P.25)

	こんなときは…	ここを確認してください
再生(つづき)	カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 「時計設定」が正しくない。(P.17) （パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります）
	撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	• 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
	画面に「サムネイル表示」と表示される	• 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
	撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	• デジタル赤目補正(⚡A◎、⚡◎、⚡S◎)が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュモードを ⚡A、⚡、⊘ または「デジタル赤目補正」を「OFF」にして撮影することをおすすめします。
	動画に本機の動作音が録音される。	• 動画撮影中に本機が自動でレンズの絞りを調整するため動作音が録音される場合がありますが、異常ではありません。
	本機で撮影した動画が他機で再生できない。	• 本機で撮影した動画(Motion JPEG)は、他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。また、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。(2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した動画を、本機で再生することは可能です)

	こんなときは…	ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター	テレビに画像が出ない。 画面が流れたり色が付かない。	• 正しく接続していない。(P.83) • テレビの入力切換を外部入力にしていない。 • テレビがお使いのカードに対応していない。 • 本機の「ビデオ出力」を「NTSC」に設定してください。(P.25)
	テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。	• テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。
	テレビで動画再生できない。	• テレビにカードを入れている。 →AVケーブル(付属)で接続し、本機で再生してください。(P.83)
	テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	• 「TV画面タイプ」を確認する。(P.25)

	こんなときは…	ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター（つづき）	パソコンに画像を転送できない。	• 正しく接続していない。（P.78） • パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。 • 本機の「USBモード」を「PC」にしてください。（P.24）
	パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	• USB接続ケーブル（付属）を抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。
	パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）	→お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ →接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 →液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。
	パソコンの画像をカメラで再生したい。	• CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンからカメラにコピーしてください。
	プリンターに接続してもプリントができない。	• PictBridge対応機を使用していない。 • 本機の「USBモード」を「PictBridge(PTP)」にしてください。（P.24）
	撮影した日付がプリントされない。	• 日付プリントを指定して、プリントする。 →お店に依頼するとき：プリント設定し（P.75）、「日付入りで」と依頼する。 →プリンターを使うとき：プリント設定し、日付プリント対応プリンターを使う。 →パソコンを使うとき：CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」の印刷設定で「日付入り」を設定する。 • 画像に「文字焼き込み」で日付を焼き込んでおく。（P.71）
	プリントすると、画像の端が切れる。	• プリンターにトリミングやふちなし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。 （プリンターの説明書をお読みください） • 「16:9」で撮影した。 →お店に依頼した場合、16：9のサイズに対応しているか確認してください。

	こんなときは…	ここを確認してください
その他	本機を振ると「カタカタ」と音がする。	• レンズが移動する音で、故障ではありません。（P.11）
	オートレビューの設定ができない。	• 「連写」、シーンモードの「自分撮り」「高速連写」「フラッシュ連写」のときは設定できません。
	暗い場所で［シャッター］を半押しすると、赤いランプが点灯する。	• 「AF補助光」を「ON」にしている。（P.63）
	AF補助光が点灯しない。	• 「AF補助光」を「OFF」にしている。 • 明るい場所、およびシーンモードの「風景」、「夜景」「自分撮り」「花火」「空撮」「夕焼け」では点灯しません。
	本機が熱くなる。	• ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
	レンズ部から「カチッ」と音がする。	• 明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。（撮影に影響はありません）
	時計が合っていない。	• 長期間放置した。 →再度時計を設定する。（P.17）（時計設定せずに撮ると「0. 0. 0 0:00」の日付になります） • 時計設定に時間がかかった。（その分時間がずれます）
	ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	• 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。
	ファイル番号が連続して記録されない。	• 新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。（P.79）
	ファイル番号がさかのぼって記録される。	• 電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。 （フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります）

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

●長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
●手ブレを防ぐために、三脚を使い、安定した場所に設置することをおすすめします。（特に、望遠やシャッタースピードが遅い撮影時、セルフタイマー使用時）
●磁気や電磁波、電波、高電圧による画像や音声の乱れを防ぐために、テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでは使用しない。上記影響で正常に動作しないときは、電源を切ってからバッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC5）を抜き、再度取りつける。
●付属のコードやケーブルを使用し、延長して使わない。
●殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない。（変質や塗装はがれの原因になります）

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

しばらく使わないとき

●電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。（特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります）
●ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
●押し入れなどでは、乾燥剤（シリカゲル）とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく（15 ℃ ～ 25 ℃）、湿気の少ない（湿度40% ～ 60%）、温度変化の少ない場所で保管する。
● 1 年に 1 回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

カードやデータについて

●カードやデータの破損を防ぐために
- 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
- 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
- カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。

●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。
  廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶モニターについて

●液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
●ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
●液晶モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
●寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

個人情報について

赤ちゃんモードで名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。
●免責事項
- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●修理依頼または譲渡／廃棄されるとき
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。（P.24）
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー（P.77）をし、その後内蔵メモリーをフォーマット（P.25）してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、前ページの「●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。

■このマークがある場合は

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

記録可能枚数・記録可能時間

●数値は目安です。撮影の条件、カードの種類、被写体により変化します。
●液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。

内蔵メモリー・カードの記録可能枚数について(写真)

●「記録画素数」(P.57)によって枚数が変わります。
●記録可能枚数が99999枚を超える場合は、「+99999」と表示されます。

画像横縦比		4:3					3:2	16:9
記録画素数		12 M 4000×3000	8 M EZ 3264×2448	5 M EZ 2560×1920	3 M EZ 2048×1536	0.3 M EZ 640×480	10.5 M 4000×2672	9 M 4000×2248
内蔵メモリー		10	15	20	27	200	11	13
カード	256 MB	57	83	110	150	1080	63	75
	512 MB	110	165	220	300	2150	125	150
	1 GB	220	330	440	600	4310	250	300
	2 GB	460	680	900	1220	8780	520	610
	4 GB	910	1340	1770	2410	17240	1020	1200
	6 GB	1380	2030	2690	3660	26210	1550	1830
	8 GB	1860	2720	3610	4910	35080	2080	2450
	12 GB	2800	4110	5440	7400	52920	3130	3700
	16 GB	3740	5490	7260	9880	70590	4180	4940
	24 GB	5430	7970	10550	14350	102500	6080	7170
	32 GB	7500	11010	14570	19820	141620	8400	9910
	48 GB	11030	15830	21420	28020	182140	12140	14570
	64 GB	14970	21490	29070	38020	247160	16470	19770

内蔵メモリー・カードの記録可能時間について(動画)

●「画質設定」(P.54)により撮影可能時間が変わります。

画質設定		HD	WVGA	VGA	QVGA
内蔵メモリー		–	–	–	1 分 26 秒
カード	256 MB	59 秒	2 分 35 秒	2 分 40 秒	7 分 50 秒
	512 MB	2 分	5 分 10 秒	5 分 20 秒	15 分 40 秒
	1 GB	4 分	10 分 20 秒	10 分 50 秒	31 分 20 秒
	2 GB	8 分 20 秒	21分 20 秒	22 分 10 秒	1 時間 4 分
	4 GB	16 分 30 秒	41 分 50 秒	43 分 40 秒	2 時間 5 分
	6 GB	25 分 10 秒	1 時間 3 分	1 時間 6 分	3 時間 11 分
	8 GB	33 分 40 秒	1 時間 25 分	1 時間 28 分	4 時間 15 分

画質設定		HD	WVGA	VGA	QVGA
カード	12 GB	50 分 50 秒	2 時間 8 分	2 時間 14 分	6 時間 26 分
	16 GB	1 時間 8 分	2 時間 52 分	2 時間 59 分	8 時間 35 分
	24 GB	1 時間 38 分	4 時間 9 分	4 時間 19 分	12 時間 27 分
	32 GB	2 時間 16 分	5 時間 45 分	5 時間 59 分	17 時間 13 分
	48 GB	3 時間 20 分	8 時間 27 分	8 時間 48 分	25 時間 18 分
	64 GB	4 時間 29 分	11 時間 22 分	11 時間 50 分	34 時間 3 分

●動画を連続して撮影できるのは、約2 GBまでです。(カードに2 GBを超える空き容量があっても、撮影可能時間は約2 GBで計算して表示されます。)
表の時間表記は合計時間です。

仕様

電源	●DC 5.1 V
消費電力	●1.0 W（撮影時） ●0.6 W（再生時）

カメラ有効画素数	1210 万画素
撮像素子	1/2.33 型CCD 総画素数1270 万画素　原色カラーフィルター
レンズ	光学4 倍ズーム　f=6.3 ～ 25.2 mm （35 mmフィルムカメラ換算：35 mm～ 140 mm）/ F3.5 ～ F5.9
デジタルズーム	最大 4 倍
EX光学ズーム	最大 7.8 倍
フォーカス	通常/ AFマクロ/ ズームマクロ 顔認識/9 点/1 点
撮影可能範囲	● 通常　50 cm ～ ∞ ● マクロ・インテリジェントオート　10 cm（W端時）/ 50 cm（T端時）～ ∞ ● シーンモード　上記範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	1280×720 画素※/848×480 画素※/ 640×480 画素※/320×240 画素(※ カード使用時のみ) 30 コマ/秒　音声付き
連写撮影：速度 枚数	約 1.8 コマ/秒 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存
高速連写：速度 枚数	約 5.5 コマ/秒 内蔵メモリー使用時：約 15 枚(フォーマット直後) カード使用時　：最大 100 枚(カードの種類、撮影条件によって異なる)
ISO感度	i ISO/80/100/200/400/800/1600 （シーンモードの「高感度」：1600 ～ 6400）
シャッタースピード	8 ～ 1/1600 秒　シーンモードの「星空」：15 秒、30 秒、60 秒
ホワイトバランス	オート(AWB）/ 晴天/ 曇り/ 日陰/ 白熱灯/ セットモード
露出	オート(プログラムAE) 露出補正(1/3 EV ステップ、−2 EV ～ +2 EV)
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	2.7 型TFT液晶(約 23 万ドット）（視野率約 100%）

フラッシュ	撮影可能範囲：約 30 cm ～ 4.9 m（W端、ISO「i ISO」設定時） オート/ 赤目軽減オート/ 強制発光(赤目軽減強制）/赤目軽減スローシンクロ/ 発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約 40 MB） SDXC メモリーカード/SDHC メモリーカード/SD メモリーカード
記録画素数：写真	画像横縦比「4:3」 4000×3000 画素/3264×2448 画素/2560×1920 画素/2048×1536 画素/640×480 画素 画像横縦比「3:2」 4000×2672 画素 画像横縦比「16:9」 4000×2248 画素
動画	1280×720 画素※/848×480 画素※/ 640×480 画素※/320×240 画素　（※カード使用時のみ）
記録画像ファイル形式	写真：JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）/DPOF 対応 音声付き動画：QuickTime Motion JPEG
インターフェース	デジタル：USB 2.0（Full Speed） アナログビデオ/オーディオ：NTSC/PALコンポジット(メニュー切り換え）/ オーディオ出力(モノラル)
端子	AV OUT/DIGITAL：専用ジャック(8 pin) DC IN：専用ジャック(2 pin)
寸法	約幅98.6 mm×高さ58.9 mm×奥行き18.6 mm（突起部除く）
質量	約 141 g（カード、バッテリー含む） 約 121 g（本体）
推奨使用温度	0 ℃ ～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%
言語切換	なし(日本語のみ)

■専用バッテリーチャージャー（DE-A75A）

定格入力	AC100 V ～ 240 V　50/60 Hz
定格出力	DC4.2 V　0.65 A（充電時）
入力容量	15 VA（100 V/240 V）

■バッテリーパック(DMW-BCH7)

電圧/容量	3.7 V/695mAh
種類	リチウムイオン

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電　話（　　　　）　－			
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（88 ～ 95ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-FP1
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体１年間
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代 部品および補助材料代
- 出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**
携帯・PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック LUMIX（ルミックス）相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-638**
携帯・PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問合せ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1109

さくいん

●液晶モニターの表示について(P.86)

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら・わ行

英数字